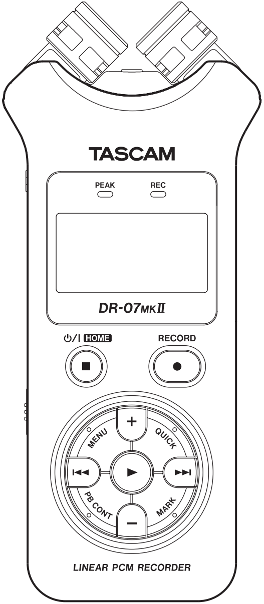
D01145001A

TASCAM

DR-07MKII

Liner PCM Recorder



取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告



この機器を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、ACアダプター使用時にはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、ACアダプター使用時にはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、ACアダプター使用時にはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は、航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

船舶などの直流(DC)電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

!	オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器にACアダプターを接続する場合は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	ACアダプター使用時には、この機器をコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
⃠	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪影響を与えることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電池の取り扱いについて

本製品は、電池を使用しています。誤った使用による発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠警告（乾電池に関する警告）

乾電池は、絶対に充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠警告（電池に関する警告）

電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースの表示されているとおりに正しく入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠警告（電池に関する警告）

指定以外の電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
液が目に入った時には、失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いたときは、皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池の挿入や交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

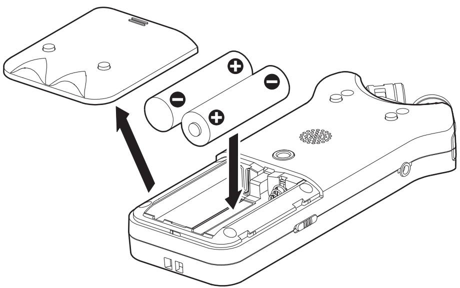
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

目次

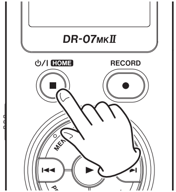
目次

本機を使って、録音と再生をしてみましょう。
工場出荷時には、あらかじめmicroSDカードが本体に挿入されおり、録音形式はWAV形式44.1kHz、16ビットに設定されています。
録音形式を変更すると、より高音質で録音したしたり、より長時間の録音することができます。詳しくは、45ページ「ファイル形式／サンプリング周波数／タイプ／最大ファイルサイズを設定する」をご参照ください。

1. 本機の裏面にある電池ケースに電池を入れます。電池ケース内の⊕と⊖表示に合わせて電池をセットしてください。

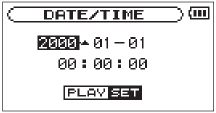


2. 電源をオンにします。各種情報を表示します。
   ⏻/I (HOME)[■] ボタンを、本機が起動されるまで押し続けます。本機が起動したらボタンを離します。



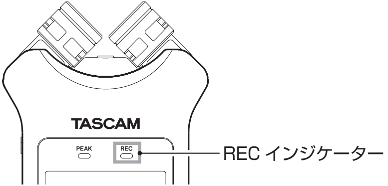
注 意

お買い上げ後、最初に電源を入れたときには、内蔵時計を設定するための画面が表示されます。



⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、+ボタンまたは−ボタンを使って日付と時刻を合わせます。
設定が完了したら、►ボタンを押して確定します。

3. RECORD［●］ボタンを押すと、録音待機状態になります。このとき、RECインジケーターが点滅します。



メモ

このとき、ホーム画面右上に"L-R"または"R-L"のアイコンが付いている場合、マイクの角度と内蔵マイクの左右設定が合っていませんので、設定を変更します。（ → 42ページ「内蔵ステレオマイクについて」）

4. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って録音レベルを設定します。詳しくは、49ページ「入力レベルを調節する」を参照してください。

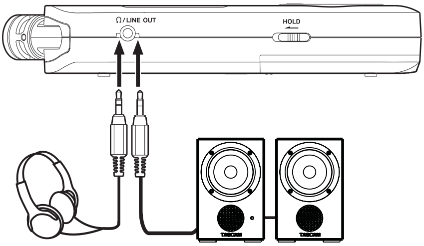
5. RECORD［●］ボタンを押すと、録音が始まります。録音中は、RECインジケーターが点灯します。

6. 録音を終了するには、⏻/Ｉ(HOME)［■］ボタンを押します。

メモ

録音中に再度RECORD［●］ボタンを押すことで録音を一時停止し、RECORD［●］ボタンを押すと同じファイルに録音を再開することができます。

7. ►ボタンを押すと、今録音したものが再生されます。
ヘッドホンで聴く場合や、外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、左サイドパネルにある Ω /LINE OUT端子に機器を接続します。
本体内蔵のスピーカーで聴く場合は、スピーカー設定をオンにします。（ → 41ページ「内蔵スピーカーで再生する」）



8. 再生音量の調節は、＋ボタンまたは－ボタンを使って行います。
9. 再生を停止するには、⏻/❙(HOME)[■] ボタンを押します。

メモ

録音を複数回行った場合は、ホーム画面で停止中または再生中に、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って再生するファイルを選択します。

第 1 章　はじめに

この たび は、TASCAM Linear PCM Recorder DR-07MKIIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにmicroSD ／ microSDHCカードを採用したコンパクトサイズのオーディオレコーダー
- 高性能な指向性ステレオマイクを搭載
- マイクの開閉により音質の異なるステレオ録音が可能
  Close：位相差を抑えたクリアなステレオ録音
  Open ：広がりのあるステレオ録音
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM（WAV形式）録音が可能
- WAVファイルはBWFフォーマットに対応
- 32k 〜 320kbpsのMP3形式での録音が可能（ID3 tag v2.4対応）
- 再生音に入力信号をミックスして別ファイルとして録音することが可能なオーバーダビング機能
- 0.3Wモノラル出力のスピーカー内蔵
- 録音時または再生時に使用可能な内蔵エフェクター（リバーブ）を搭載
- 音声の入力レベルを感知して、自動で録音の開始が行えるオートレック機能
- 録音を継続したまま、あらかじめ設定した最大ファイルサイズによって、自動的に新たなファイルに記録を開始することが可能
- 状態に応じて、必要な機能にすばやくアクセスするためのQUICK（クイック）ボタン搭載
- 録音を継続したまま、任意の位置でファイルを更新できるトラックインクリメント機能
- 録音開始2秒前からの音を録音できるプリレック機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、適度なレベルに自動的に入力レベル設定を下げるピークリダクション機能
- 大きい音は小さく、小さい音は大きくして常に最適なレベルで録音できるオートレベル機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、その部分だけ適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利なローカットフィルター

- 音程を変えずに再生スピードを0.5倍から1.5倍まで（0.1倍単位）可変できるVSA機能
- リピート再生機能およびIN-OUTループ再生機能
- 再生スピードコントロール、IN-OUTループの設定を行う画面を表示するPB CONTボタン搭載
- 楽器の音程を合わせるためのチューナー機能
- 指定時間後に録音を開始するセルフタイマー機能
- 再生中にボタンのワンプッシュで数秒前に戻って再生しなおすジャンプバック再生機能
- 録音ボタンの操作音の録音を避けるためのレックディレイ機能
- プレイリスト機能
- 任意の位置でファイルを分割するディバイド機能（WAVファイルのみ）
- 特定の位置への移動に役立つマーク機能
- 再生イコライザー機能および、再生全体の音圧感を上げるレベルアライン機能
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 電源をオフにする前の再生位置を記憶しておくリジューム機能
- 外部ステレオマイク入力（プラグインパワー対応）またはステレオ外部入力用の3.5mm（1/8”）端子
- 3.5mm（1/8”）ライン出力／ヘッドホン出力端子
- 128 x 64のバックライト付ドットマトリックスタイプLCD
- Mini-B タイプUSB 2.0端子
- 単3形 電 池2本、ACア ダ プ タ ー（ 別 売：TASCAM PS-P515U）またはUSBバスパワー駆動
- 本体に三脚取り付け用穴を装備
- USBケーブル付属

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- microSDメモリーカード（本体差し込み済）　x1
- 単3形アルカリ乾電池　x2
- USBケーブル（80cm）　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**MENU**ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **“ON”** のように “_” で括って表記します。
- 「microSDメモリーカード」のことを「microSDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレー上に表示される文字を《**DR-07MK2**》のように《_》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing. com.

- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、iMac、Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。
- EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。
- eneloopは、三洋電機株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

microSD カードについて

本機では、microSDカードを使って録音や再生を行います。使用できるカードは、64MB 〜 2GBのmicroSDカード、および4GB 〜 32GBのmicroSDHCカードです。
TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

microSDカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  振動の多い場所。
  窓際などの直射日光が当たる場所。
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
  極端に温度が低い場所。
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
  ほこりの多い場所。
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

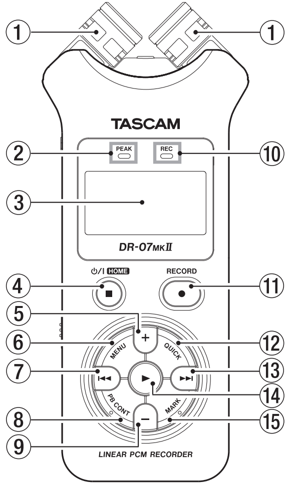
TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  本機を使ったシステム内のハードディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
  - 型名、型番（DR-07MKII）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

第２章　各種の名称と働き

トップパネル



① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサータイプの指向性ステレオマイクです。マイクは、両方のマイクを開いた状態（A-B）、閉じた状態（X-Y）の2つの状態にすることができます。

リアパネルの**MIC/EXT IN**端子に外部マイクや外部入力を接続すると、接続した外部マイク／外部入力が優先になり、内蔵ステレオマイクが無効になります。

② PEAKインジケーター

録音する音のレベルが歪む直前に赤く点灯します。

③ ディスプレー

各種情報を表示します。

④ ⏻/Ｉ(HOME)[■] ボタン

再生中にこのボタンを押すと、その位置で再生を停止します（一時停止）。一時停止中にこのボタンを押すと、その曲の先頭に戻ります。

録音待機中または録音中にこのボタンを押すと、録音を停止します。

各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

また、各種設定画面の操作では、確認のポップアップメッセージに対して「NO」と答えるときに使います。

長く押すと、電源のオン／オフの切り換えを行います。

⑤ ＋ボタン

ホーム画面および **"TUNER"** 画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /**LINE OUT**

端子から出力される音量を大きくします。調節中は、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。
再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを早くします。
各種設定画面での操作時、項目を選択したり選択肢／値を変更するときに使います。

⑥ MENUボタン

ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、**"MENU"**画面が表示されます。
各種設定画面を表示中に、このボタンを押したときも、**"MENU"**画面に戻ります。
再生コントロール画面でIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときにこのボタンを押すと、ループ再生のオン／オフを切り換えます。

⑦ ⏮ボタン

再生中、またはファイルの途中で停止しているときにこのボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。
現在位置から曲の先頭の間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときには、IN点（始点）またはOUT点（終点）に移動します。
ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。
押し続けると早戻しサーチを行います。
MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、前のマークに移動します。
各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを左に移動します。
"BROWSE"画面では、階層を戻ります。
録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルのMIC/EXT IN端子からの入力音の入力レベルを小さくします。調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

⑧ PB CONTボタン

このボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。
再生コントロール画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
録音待機中にこのボタンを押すと、セルフタイマー機能のオフ、時間の切り換えをします。

⑨ −ボタン

ホーム画面および**"TUNER"**画面を表示中にこのボタンを押すと、内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を小さくします。
調節中は、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、再生スピードを遅くします。
各種設定画面での操作時、項目を選択したり選択肢／値を変更するときに使います。

⑩ RECインジケーター

録音待機中は、インジケーターが点滅します。
録音を開始するとインジケーターが点灯します。

⑪ RECORD [●] ボタン

停止中に押すと録音待機状態になり、RECインジケーターが点滅します。また、**"MONITOR MIX"** 画面の **"INPUT"** 項目が **"ON"**（モニターミックスがオン）の場合は、オーバーダビングのオン／オフ設定のポップアップメニューが表示されます。
録音待機中に押すと録音が始まり、RECインジケーターが点灯します。
録音中に押すと、録音一時停止になります。

⑫ QUICKボタン

ホーム画面で停止中／一時停止中／再生中／録音待機中、および再生コントロール画面を表示中にこのボタンを押すと、クイックメニュー画面を表示します。ボタンを押したときの本機の状態で、表示される機能が異なります。

- **停止中：**現在の曲の削除、分割、レベルアライン機能
- **再生中／再生コントロール画面：**レベルアライン機能
- **録音待機中：**レベルコントロール機能

録音中に押すと、トラックインクリメントします。
"BROWSE" 画面および **"PLAYLIST"** 画面を表示中にこのボタンを押すと、ファイル／フォルダ操作のポップアップメニューを表示／非表示します。

⑬ ►►I ボタン

停止中または再生中にこのボタンを押すと、次のファイルにスキップします。
現在位置から曲の先頭の間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）が設定されているときには、IN点（始点）またはOUT点（終点）に移動します。
押し続けると早送りサーチを行います。
各種設定画面を表示中に、画面内のカーソルを右に移動します。
MARKボタンを押しながらこのボタンを押すと、次のマークに移動します。
"BROWSE" 画面では、階層を進みます。ファイルが選択されているときは、ファイルをロードしてホーム画面に戻り停止します。
録音待機中または録音中に押すと、内蔵ステレオマイクまたはリアパネルのMIC/EXT IN端子からの入力音の入力レベルを大きくします。調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。

⑭ ► ボタン

ホーム画面で停止中に押すと、再生を始めます。

再生中に押すと、ジャンプバック再生を行います。

また、各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定したり、確認のポップアップメッセージに対して「YES」と答えるときに使います。

"BROWSE" 画面で、ファイルまたはフォルダを選択した状態でこのボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのファイルまたはフォルダの最初から再生します。

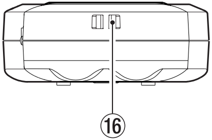
⑮ MARKボタン

録音中に手動でマークを付けるときに使用します。

このボタンを押しながら、⏮ ボタンを押すと前のマークに、⏭ ボタンを押すと次のマークへ移動します。また、再生コントロール画面表示中に、希望の区間をループ再生させるときのIN点(始点)とOUT点(終点)を設定します。

IN点(始点)とOUT点(終点)が設定されているときに、このボタンを押すと、IN点（始点）とOUT点（終点）がクリアされます。

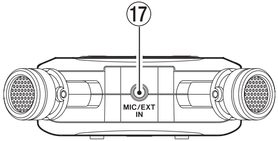
フロントパネル



⑯ ストラップホルダー

ストラップを取り付けます。

リアパネル

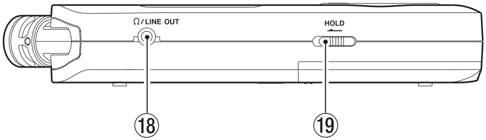


⑰ MIC/EXT IN端子

ステレオミニジャックの外部マイク入力または外部入力端子です。プラグインパワーに対応しています。

MIC/EXT IN端子に接続された外部マイクが内蔵ステレオマイクよりも優先されます。

左サイドパネル



⑱ Ω /LINE OUT端子

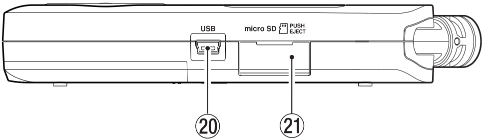
ヘッドホンまたはステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

⑲ HOLDスイッチ

左側にセット（矢印の方向に移動）するとホールド機能が働きます。

ホールド中は、全てのボタン操作を受付けません。

右サイドパネル



⑳ USB端子

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのUSBポートです。（ → 91ページ「パソコンと接続する」）

付属のUSBケーブルまたは別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で電源を供給することができます。

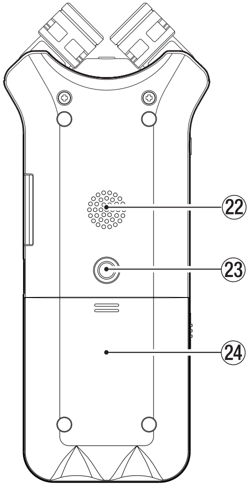
注 意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

㉑ microSDカードスロット

microSDカードの挿入／取り出しをします。

ボトムパネル



㉒ 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。

録音待機中または録音中、ヘッドホンを接続しているとき、スピーカーがオフに設定されているとき、またはモニターミックスがオンに設定されているときは、音が出力されません。

㉓ 三脚取り付け用穴（1 ／ 4インチ）

本体に三脚を取り付けることができます。

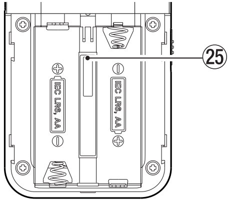
注 意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のねじを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚またはマイクスタンドを水平な場所に置いてください。

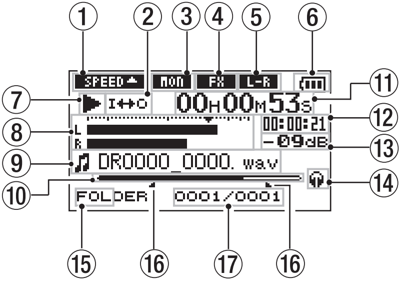
㉔ 電池ケース蓋

㉕ 電池ケース

本機の電源になる電池（単3形電池、2本）を収納するケースです。（ → 34ページ「単3形電池で使用する」）



ホーム画面



① 再生速度の状態表示

再生速度の設定に応じて、以下のアイコンを表示します。

アイコン	再生速度
SPEED −	1倍
SPEED ▲	1.1〜1.5倍
SPEED ▼	0.5〜0.9倍
SPEED X	再生スピードの変更不可のとき

② ループ再生／リピート再生の設定状態表示

状況に応じて、以下のアイコンを表示します。

SINGLE：シングル再生

1 ：1曲リピート再生

ALL ：全曲リピート再生

I↔O：ループ再生

③ モニターミックスの状態表示

モニターミックスのオン／オフ状態を表示します。

mon：モニターミックスオフ

mon：モニターミックスオン

④ エフェクターのオン／オフ状況表示

エフェクターのオン／オフ状態をアイコン表示します。

FX：内蔵エフェクターオフ

FX：内蔵エフェクターオン

⑤ 内蔵ステレオマイクの左右設定表示

内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合っていないときに、現在の左右設定状態を表示します。

アイコン	マイク角度	MIC設定
L-R	閉（X-Y）	L-R
R-L	開（A-B）	R-L

⑥ 電源供給の状態表示

電池駆動時は、電池アイコンを表示します。

電池残量に応じて、目盛りが表示されます（“”、“”、“”）。

目盛り表示がなくなると“”が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。

別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時およびUSBバスパワー駆動時は、“”を表示します。

メ モ

残量がなくなる前でも録音など消費電力の大きい動作を行おうとすると、**“Battery Low”**の警告のポップアップメッセージが出ることがあります。

⑦ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
❚❚	一時停止中
►	再生中
►►	早送り中
◄◄	早戻し中
►►I	次のファイルの先頭にスキップ
I◄◄	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。

モニターミックスがオンのときは、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑨ ファイル情報表示

再生中のファイルのファイル名、またはタグ情報を表示します。

ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。

メ モ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑩ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑪ 経過時間表示

再生中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑫ 残量時間表示

再生中のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑬ ピーク値のデシベル（dB）表示

一定時間毎に、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。

⑭ モニター出力表示

🎧：ヘッドホンから出力します

🔈：内蔵スピーカーから出力します

⑮ 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

ALL	：MUSICフォルダ内の全ファイル
FOLDER	：選択したフォルダ内の全ファイル
P.LIST	：プレイリストに登録されたファイル

⑯ ループ再生のIN点（始点）、OUT点（終点）の設定状況

ループ再生のIN点（始点）／ OUT点（終点）の設定状況を表示します。

IN点（始点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に **“◢”アイコン**が表示されます。

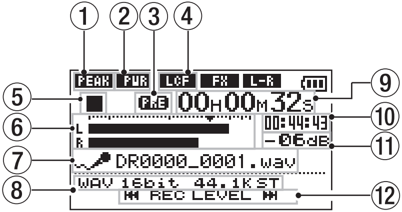
OUT点（終点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に **“◣”アイコン**が表示されます。

⑰ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象エリアの総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

録音画面

録音待機中または録音中は、以下の録音画面を表示します。



① レベルコントロール機能状態表示

OFF：レベルコントロール機能オフ

PEAK：ピークリダクション

AUTO：オートレベル

LMT：リミッター

② プラグインパワーオン／オフ状態表示

プラグインパワーのオン／オフ状態を表示します。

PWR：プラグインパワーオフ

PWR：プラグインパワーオン

③ プリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示

プリレック機能が“**ON**”のかつ録音待機中は、“**PRE**”アイコンが表示されます。
オートレック機能が“**ON**”かつ録音中は、“**A.REC**”アイコンが表示されます。

④ ローカットフィルターオン／オフ状態表示

ローカットフィルターのオン／オフ状態を表示します。“**40Hz**”、“**80Hz**”または“**120Hz**”設定時に反転表示します。

LCF：ローカットフィルターオフ
LCF：ローカットフィルターオン

⑤ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	録音待機中
❚❚	録音一時停止中（録音待機中）
●	録音中

⑥ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。
オーバーダビング中は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。
目盛りには、－１２dBの位置に入力レベル調整時の目印となる“▼”マークがあります。

⑦ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑧ 録音モード表示

録音ファイルの形式、サンプリング周波数、ステレオ／モノラル（“**ST**”／“**MONO**”）を表示します。

⑨ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑩ 録音残時間

設定した最大ファイルサイズに対する残時間（時：分：秒）を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。

⑪ ピーク値のデシベル（dB）表示

録音レベルのピーク値をデシベル表示します。

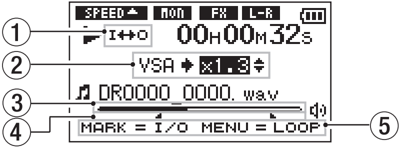
⑫ 入力レベル使用ボタン表示

入力レベルを表示するために使用するボタン（“**⏮**”／“**⏭**”）を表示します。
⏮ボタン／⏭ボタンを押すと、この部分に入力レベル設定状態を表すメーターがプルアップ表示されます。

再生コントロール画面

停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。

この画面では、録音はできません。また、|◀◀ボタン／▶▶|ボタンは、IN点（始点）／OUT点（終点）または先頭／末尾へスキップし、前または次のファイルへのスキップはできません。



① ループ再生の設定状態表示

ループ再生が有効なとき、**“I↔O”**アイコンが表示されます。

② 再生速度表示

再生速度が標準再生速度の何倍かで表示されます。VSA機能（Variable Speed Audition：曲の音程を保ったまま再生スピードを変えることができる機能）が有効であることを示す**“VSA”**が先頭に表示されます。

③ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

④ ループ再生のIN点（始点）、OUT点（終点）の設定状況

ループ再生のIN点（始点）／OUT点（終点）の設定状況を表示します。

IN点（始点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に**“◢”アイコン**が表示されます。

OUT点（終点）を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に**“◣”アイコン**が表示されます。

⑤ 使用ボタン表示

再生コントロール画面を表示中に使用するボタンと、その用途を表示します。

MARK：IN点（始点）、OUT点（終点）およびそれらのクリアに使います。

MENU：ループ再生のオン／オフを切り換えるのに使います。

メモ

この画面で**QUICK**ボタンを押したときには、他の画面と異なり、クイックメニュー画面には**“LEVEL ALIGN”**のみが表示され、レベルアライン機能のみが使用できます。

メニューの構成

MENUボタンを押すと、**"MENU"** 画面が表示されます。メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
REC SETTING	録音の設定をします。	45ページ
PLAY SETTING	再生範囲、リピート再生、再生EQ、ジャンプバックの設定をします。	69ページ 76ページ 80ページ 81ページ
BROWSE	カード内のファイル、フォルダの操作をします。	65ページ
SPEAKER	内蔵スピーカーのオン／オフを設定します。	41ページ
OTHERS	OTHERSサブメニューを表示します。	

"MENU" 画面で **"OTHERS"** を選択すると、**"OTHERS"** サブメニュー画面が表示されます。サブメニュー項目は、以下の通りです。

サブメニュー項目	機能	参照ページ
INFORMATION	ファイル情報、microSDカード情報、システム情報を表示します。	94ページ
MONITOR MIX	モニターミックスの設定をします。	54ページ
TUNER	チューナーを使用します。	90ページ
EFFECT	エフェクターの設定をします。	88ページ
FILE NAME	ファイル名の設定をします。	99ページ
DATE/TIME	日時、時刻の設定をします。	38ページ
SYSTEM	各種設定を行います。	96ページ

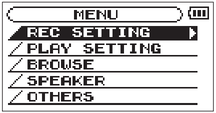
注 意

- 録音待機中または録音中は、下記の画面と項目のみ表示されます。
  "REC SETTING" 画面の
  "MIC POWER" 項目および **"LOW CUT"** 項目
  "MONITOR MIX" 画面の
  "PB INPUT" 項目
  "EFFECT" 画面の全項目
- 再生コントロール画面では、MENUボタンを押しても **"MENU"** 画面は表示されません。ループ再生機能がオン／オフされます。（ → 78ページ「指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）」）

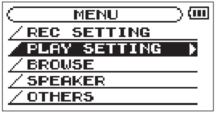
メニューを使う

再生範囲の設定を変更することを例に説明します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

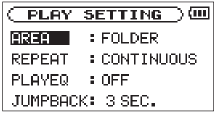


2. ＋ボタンまたは－ボタンを使ってメニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと各種設定画面に移動します。



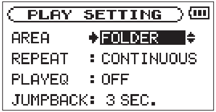
[PLAY SETTING 選択時]

3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、設定する項目を選択（反転表示）します。



[AREA 選択時]

4. ►►I ボタンまたは► ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動します（反転表示）。



5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、設定を変更します。
6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、I◄◄ボタンを押します。
   設定項目選択状態に戻りますので、＋ボタンまたは－ボタンを使って設定したい項目を選択（反転表示）します。
7. 必要に応じて、3.～ 6.を繰り返して、各項目を設定します。
8. MENUボタンを押すと、**"MENU"** 画面（または **"OTHERS"** サブメニュー画面）に戻ります。**⏻/ I (HOME)** [■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

MENUボタン

"MENU" 画面を呼び出します。

PB CONTボタン

再生コントロール画面を呼び出します。

⏻/❙(HOME)[■] ボタン

各設定画面を表示中に ⏻/❙(HOME)[■] ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。確認のポップアップメッセージに対して「NO」を選択するときにも使用します。

►ボタン

各設定項目の選択を確定したり、確認のポップアップメッセージに対して「YES」を選択するときに使用します。

►►❙ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動するときや、**"BROWSE"** 画面でフォルダを開くときに使用します。

❙◄◄ボタン

設定画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動するときや、**"BROWSE"** 画面でフォルダを閉じるときに使用します。

＋ボタン

各項目を画面上方向に移動して選択したり、設定値を高い値／大きい値に変更するときに使用します。

−ボタン

各項目を画面下方向に移動して選択したり、設定値を低い値／小さい値に変更するときに使用します。

QUICKボタン

クイックメニュー画面を呼び出します。

"BROWSE" 画面および **"PLAYLIST"** 画面を表示中にポップアップメニューを表示／非表示します。

電源の準備

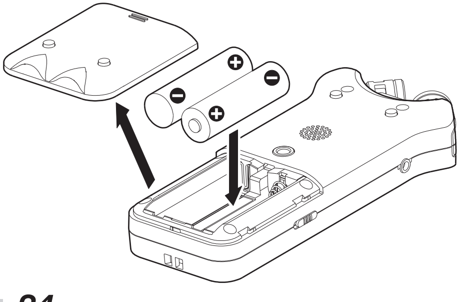
電源について

本機は、単3形電池2本、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）または付属のUSBケーブルを使って（USBバスパワー駆動）、本機に電源を供給します。

本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

単3形電池で使用する

本機の裏面にある電池ケースふたをスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を2本セットして、電池ケースふたを取り付けます。



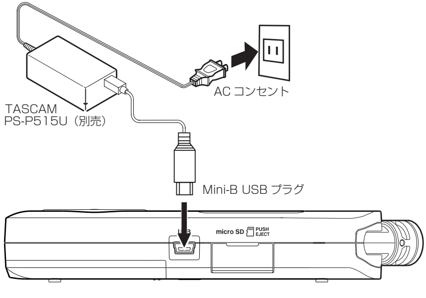
単3形電池で使用するとき、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（ → 97ページ「電池の種類の設定」）

注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。



注意

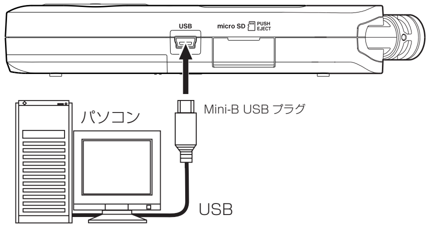
- 必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

メモ

電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。

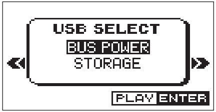
USBバスパワーで駆動する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルを使って接続します。



電源がオンのときにUSB接続する、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで駆動するか、またはパソコンとUSB接続するかを選択する **"USB SELECT"** 画面が表示されます。

＋ボタンまたは**ー**ボタンを使って **"BUS POWER"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと電源が**USB**端子から供給され、ホーム画面が表示されます。



メモ

電池をセットした状態でUSB接続した場合は、USBから電源が供給されます。（USBバスパワー優先）

電源をオンにする／オフにする

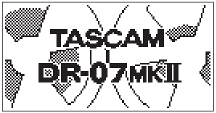
注 意

- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）使用時、およびパソコンとのUSBバスパワー接続で駆動しているときは、電源をオフにするとスタンバイ状態になります。
- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

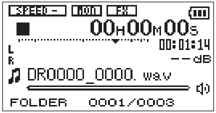
電源をオンにする

電源がオフ時に、**⏻/❙ (HOME)**［■］ボタンを長押しし、**"TASCAM DR-07MKII"**（起動画面）が表示されたら離します。

本機が起動してホーム画面が表示されます。



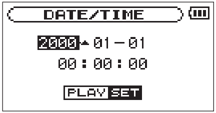
[起動画面]



[ホーム画面]

注 意

初回電源投入時（および電池がない状態でしばらく置いたため内蔵時計がリセットされたとき）には、起動画面が表示される前に、日時を設定する **"DATE/TIME"** 画面が表示されます。



⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って値を変更します。

設定が完了したら、►ボタンを押して確定します。

起動画面が表示され、起動が終了するとホーム画面が表示されます。

日時を設定せずに►ボタンを押して起動させ、あとから日時を設定することもできます。（→ 38ページ「日時を設定する」）

電源をオフにする

電源オン時に、⏻/I (HOME)[■] ボタンを長押しし、**"LINEAR PCM RECORDER"** と表示されたら離します。
シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。



注意

電源をオフにするときは、必ず ⏻/I (HOME)[■] ボタンで行ってください。
電源がオンのときに電池を外したり、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）で使用している時に電源コードを抜いたり、USBバスパワーで使用している時にUSBケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

リジューム機能

本機は、リジューム機能を搭載しており、電源をオンにしたときに、前回電源をオフにしたときの位置（時間）にロケートされます。
電源投入後、再生ボタンを押すと、電源をオフにしたときの曲の、電源をオフにしたときの位置（時間）から再生することが可能です。

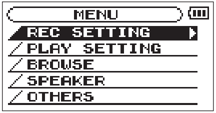
メモ

この内容は、microSDカードに記録されているため、カードを変えたり、フォーマットした場合にはリジュームできません。

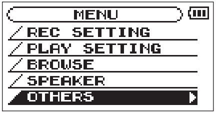
日時を設定する

本機は、本体内の時計をもとに、録音したファイルに日時を記録します。

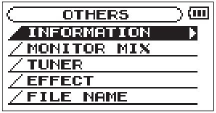
1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。



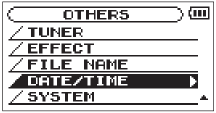
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"OTHERS"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。



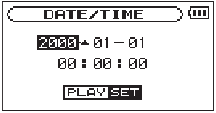
"OTHERS" 画面が表示されます。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"DATE/TIME"** メニュー項目を選択(反転表示)し、►ボタンを押します。



"DATE/TIME" 画面が表示されます。



4. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、カーソル（反転表示部）を移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って値を変更します。

5. ►ボタンを押すと確定し、**"OTHERS"** 画面に戻ります。

メモ

ここで設定した日時をファイルの名前に付けることができます。（→ 99ページ「ファイル名の形式を設定する」）

注意

日時の設定は、電池のない状態または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の接続がない状態、USBバスパワーで動作していない状態では、数分しか保持しません。
電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

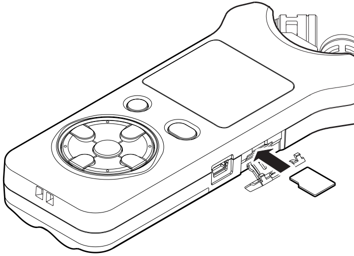
microSDカードを挿入する／取り出す

挿入する

メモ

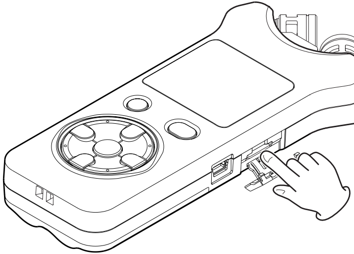
本機をお買い上げ時、microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されています。このmicroSDカードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めて挿入し直す必要はありません。

1. 右サイドパネルのmicroSDカードスロットのカバーをあけます。
2. microSDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



取り出す

1. microSDカードスロットのカバーをあけます。
2. microSDカードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。



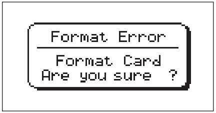
注 意

- パソコンとUSB接続中、本機からmicroSDカードを取り外さないでください。
- 使用できるmicroSDカードは、microSD/microSDHC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されています。

microSDカードを使えるようにする

本機でmicroSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

1. microSDカードが挿入されていることを確認し、電源をオンにします。
2. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。



3. ►ボタンを押すと、フォーマットを開始します。

注 意

フォーマットを行うと、カード上のデータは全て失われます。

4. フォーマットが終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでもフォーマットを行うことができます。

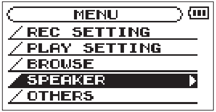
注 意

フォーマットは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で駆動しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

内蔵スピーカーで再生する

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、**"MENU"** 画面内の **"SPEAKER"** 設定項目をオンにしてください。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"SPEAKER"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。



"SPEAKER" 画面が表示されます。

3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"ON"** に設定します。



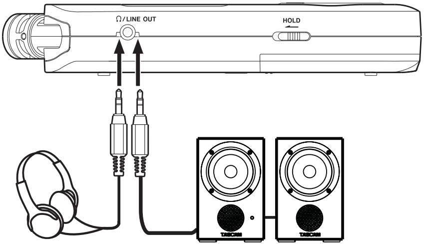
4. 設定が終了したら、⏻/ I (HOME)［■］ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

録音待機中または録音中のとき、またはヘッドホン／モニターシステムを接続すると、**"SPEAKER"** 設定が **"ON"** に設定されていても、スピーカーから音は出力されません。

モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、Ω /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。
外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、Ω /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



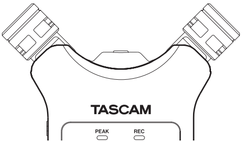
ヘッドホン　　パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー

内蔵ステレオマイクについて

本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの角度を変えることができるようになっています。録音のソースと状況またはお好みに合わせて、広がりのあるステレオ録音または位相差を抑えたクリアなステレオ録音を、内蔵マイクを開閉することで選ぶことができます。

広がりのあるステレオ録音設定をする（A-Bポジション）

マイクを左右に開きます（A-Bポジション）。
左右に大きく広がった、ステレオ感あふれる録音が可能です。
内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。（ → 44ページ「マイク位置検出について」）

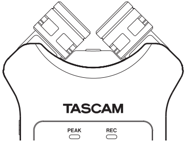


注 意

内蔵ステレオマイクの左右設定は、**“L-R”** に設定してください
内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを開いたときに左右設定が **“L-R”** になっていないときにはホーム画面に **“R-L”** アイコンが表示されます。（ → 43ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

クリアなステレオ録音設定をする（X-Yポジション）

マイクを閉じた状態にします（X-Yポジション）。
この設定では、位相差を抑えたクリアなステレオ感のある録音が可能です。
内蔵ステレオマイクを使用中にマイクを開閉して、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、マイクの左右設定を切り換えるかどうかのポップアップメッセージが表示されます。（ → 44ページ「マイク位置検出について」）



注意

内蔵ステレオマイクの左右設定は“**R-L**”に設定してください

内蔵ステレオマイク使用時に、マイクを閉じたときに左右設定が“**R-L**”になっていないときにはホーム画面に“L-R”アイコンが表示されます。（ → 43ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

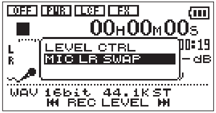
内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える

マイクの角度設定によって、左マイク、右マイクの入れ換えを行います。

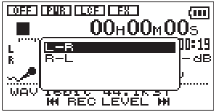
左右のマイクが開いている時には左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルとなる設定（A-Bポジション時：“**L-R**”）。マイクが閉じている時には左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルとなる設定（X-Yポジション時：“**R-L**”）にします。

内蔵ステレオマイク使用時に、この設定になっていない場合は、現在のマイク設定がホーム画面にアイコンで警告表示されます。

1. **RECORD [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。
   RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
2. **QUICK**ボタンを押します。
   クイックメニュー画面が表示されます。



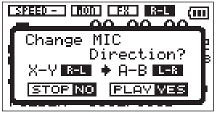
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って“**MIC LR SWAP**”が選択（反転表示）されている状態で、►ボタンを押します。
   LRスワップ設定ポップアップ画面が表示されます。



4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、マイクの開閉状況に応じて“**L-R**”もしくは“**R-L**”を選択（反転表示）します。
5. ►ボタンを押すと、選択が確定し、ホーム画面に戻ります。

マイク位置検出について

マイクを開いたり閉じたりして、内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合わなくなったときに、以下のポップアップメッセージが表示されます。



►ボタンを押すと、設定を変更します。

⏻/❙(HOME)[■] ボタンを押すと、設定を変更しません。

メモ

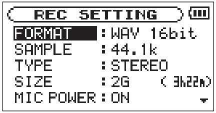
- この画面は、左側のマイクを開閉したときに自動的に表示されます。右側のマイクだけを開閉した場合は、表示されません。
- マイクの角度設定を変えてポップアップメッセージが表示されている場合は、►ボタンを押して **"L-R"** 設定を変更するか、⏻/❙(HOME)[■] ボタンを押して設定を変更しないか、マイクの角度をもとに戻してポップアップメッセージを閉じるまでは、録音を開始することができません。
- 録音中は、マイクの角度設定を変えても、このポップアップ画面はでません。**RECORD** [●] ボタンを押して録音待機状態にしてから、**QUICK**ボタンを押して表示されるクイックメニュー画面の **"MIC LR SWAP"** 項目で切換を行ってください。（ → 43ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

本機は、内蔵ステレオマイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。録音オーディオファイル形式は、MP3（32k ～ 320kbps、44.1k/48kHz）、WAV（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。
WAVファイルは、BWFフォーマットに対応していますので、録音中に付けたマークをBWF対応のソフトなどで使用することができます。
また本機では、オーディオファイルを再生しながら入力信号をミックスして別ファイルとして録音することができます（オーバーダビング機能）。

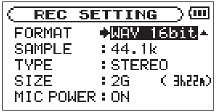
ファイル形式／サンプリング周波数／タイプ／最大ファイルサイズを設定する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. +ボタンまたは−ボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。



3. +ボタンまたは−ボタンを使って **"FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、►►|ボタンまたは►ボタンを押します。



   ここでファイル形式を設定します。
   +ボタンまたは−ボタンを使って、以下の中から設定します。

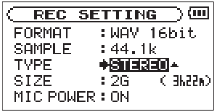
   "WAV 16bit"（初期値）、**"WAV 24bit"**、**"MP3 32k"** bps、**"MP3 64k"** bps、**"MP3 96k"** bps、**"MP3 128k"** bps、**"MP3 192k"** bps、**"MP3 256k"** bps、**"MP3 320k"** bps

メモ

- WAVの方がMP3よりも高音質で録音ができます。
- MP3の方がWAVよりも長時間録音ができます。
- MP3の場合は、値が大きいほど高音質で録音ができます。

4. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

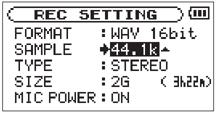
5. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"TYPE"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶I ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



ここでは、ステレオファイルかモノラルファイルかを選択します。
＋ボタンまたはーボタンを使って、**"STEREO"**（初期値）または **"MONO"** を選択します。
"MONO"を選択するとモノラルファイルが生成されますが、メーターや出力にはL ／ R両チャンネルに同じ信号が供給されます。
WAV形式の**"MONO"** を選択した場合は、**"STEREO"** を選択した場合に対し録音時間が2倍となりますので、長時間録音が可能となります。

6. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

7. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"SAMPLE"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶I ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



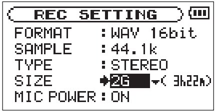
ここでサンプリング周波数を設定します。
＋ボタンまたはーボタンを使って **"44. 1k"**（初期値）、**"48k"**、**"96k"** の中から設定します。

メモ

ファイル形式がMP3のときは、**"96k"** は選択できません。

8. ◀◀ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

9. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"SIZE"** 項目を選択（反転表示）し、▶▶I ボタンまたは ▶ ボタンを押します。



ここで最大ファイルサイズを設定します。
＋ボタンまたはーボタンを使って **"64M"**、**"128M"**、**"256M"**、**"512M"**、**"1G"**、**"2G"**（初期値）の中から設定します。

メモ

- 録音中に、**"REC SETTING"** 画面で設定した最大ファイルサイズを超えると、新たな別のファイルとして録音を継続します。
- ファイル形式によって、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。
  この値は、設定値の右の括弧の中に表示されます。
- 録音時間が24時間を超える場合は、自動的に停止します。

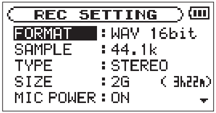
10. 設定が終了したら、⏻/❙ (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ファイルの保存先を設定する

録音したファイルの保存するフォルダを設定します。録音したファイルは、カレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）に録音されます。詳細は、67ページ「フォルダ操作」の **"SELECT"** ポップアップメニュー項目を参照してください。
特に指定しない場合は、《MUSIC》フォルダの下にファイルが作成されます。

入力の設定をする

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。



この画面で、入力に関する以下の項目を設定します。
⏮ボタン／ ⏭ボタン、および＋ボタン／ーボタンを使って、各項目の設定を行います。

MIC POWER：
　プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、**"ON"** に設定します。（初期値：**"OFF"**）

LOW CUT：
　マイク入力時のローカットフィルターを設定します。カットオフ周波数は **"40Hz"**、**"80Hz"** または **"120Hz"** から選択できます。（初期値：**"OFF"**）

注意

- ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイクを接続するときは、**"MIC POWER"**項目を**"OFF"**に設定してください。**"ON"**にすると接続したマイクの故障の原因になる恐れがあります。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

メモ

"MIC POWER"と**"LOW CUT"**の項目は、録音中および録音待機中でも設定／変更することができます。

ヒント

- **"LOW CUT"**を使用すると空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切音などのノイズを低減することができます。
- 本機には、エフェクターが内蔵され、必要に応じて入力ソースに掛けることができます。（→ 88ページ「エフェクター」）

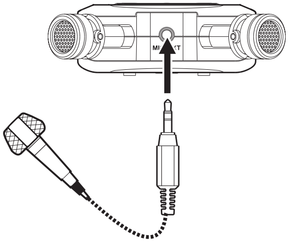
設置または接続をする

内蔵ステレオマイクで録音する

内蔵ステレオマイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

外部マイクで録音する（MIC IN）

外部マイクを本機の**MIC/EXT IN**端子に接続します。
外部マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

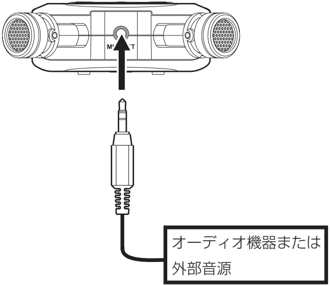


メモ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

外部機器から録音する（EXT IN）

ステレオミニプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器（ポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子など）の出力と接続します。



注 意

- 本機の入力レベルを調節しても、入力された音が歪んでいる場合は、外部機器の再生音量を小さくしてください。
- 外部機器の出力レベルを調節できないライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源等などではレベルオーバーとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子などを接続してください。

メ モ

外部マイク使用時は、内蔵ステレオマイクおよびマイクの左右設定は無効となります。

入力レベルを調節する

録音した曲が、入力が大きすぎて歪んでいたり、小さすぎてノイズに埋もれてしまったりするのを避けるために、録音する前に入力レベルを調節する必要があります。
手動で調節する機能の他にピークリダクション、オートレベル、リミッターの3つのレベルコントロール機能もありますので、お好みに応じてお使いください。

ヒント

入力レベルの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。

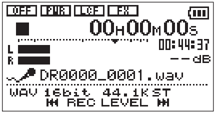
手動で入力レベルを調節する

入力のレベルを調節します。

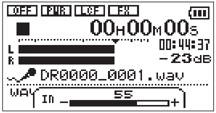
注 意

レベルコントロール機能のオートレベルを選択（録音画面の左上に“AUTO”が点灯）しているときは、手動での調節はできません。手動で入力レベルを調節するためには、レベルコントロール設定画面で **“OFF”** または他のモードを選択してください。（ → 51ページ「レベルコントロール機能を使う」）

1. **RECORD [●]** ボタンを押して､録音待機状態にします。**REC**インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。



2. **⏮** ボタンまたは **⏭** ボタンを使って、入力レベルを調節します。**⏮** ボタンまたは **⏭** ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。



録音する音のレベルが歪む直前になると、ディスプレーの左上にある**PEAK**インジケーターが赤く点灯します。
レベルメーターには、－12dBの位置に“▼”の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつ**PEAK**インジケーターが赤く点灯しないように録音レベルを設定してください。

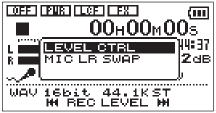
メ モ

- 録音待機状態を解除するには、**⏻/I (HOME)[■]** ボタンを押します。
- 録音待機中や録音中は、**“SPEAKER”** 項目の設定がオンの場合でもスピーカーから音は出ません。
  モニター音を聞きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機の **Ω /LINE OUT**端子に接続してください。
  モニター音は、ホーム画面表示中に**＋**ボタンまたは**ー**ボタンで調節できます。モニター音量を変えても録音される音には、影響ありません。

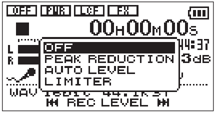
レベルコントロール機能を使う

マイク入力時の録音レベルコントロール機能を設定します。

1. **RECORD [●]** ボタンを押して、録音待機状態にします。
   RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。
2. **QUICK**ボタンを押します。
   クイックメニュー画面が表示されます。



3. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"LEVEL CTRL"** を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押します。
   レベルコントロール設定画面が表示されます。



   選択肢："OFF"（初期値）、**"PEAK REDUCTION"**、**"AUTO LEVEL"**、**"LIMITER"**

4. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って機能を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押すと機能が有効になり、録音画面に戻ります。
   選択されている機能は、録音画面にアイコンで表示されます。

PEAK REDUCTION（ピークリダクション）

入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。これにより難しい録音レベルの設定を簡単に行うことができます。
録音レベルを上げたいときは、手動で行うことができます。

ヒント

たとえば、バンド演奏を録音するとき、実際に録音する前にピークリダクションのリハーサルを行うことができます。
録音待機状態でピークリダクションモードを選択し、録音レベルを最大にします。ここでリハーサル演奏を行うと、入力音に応じて適度なレベルまで録音レベルが下げられ、演奏に合わせた録音レベルが設定されます。
録音を開始する前にオフすれば設定された録音レベルで録音することができます。また、そのまま録音を行えば録音中も入力音に応じて録音レベルを自動調節できます。
ピークリダクションモードで録音レベルを自動設定した後、リミッターモードで録音することもできます。

AUTO LEVEL（オートレベル）

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは、手動で録音レベルを変更することはできません。

LIMITER（リミッター）

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。
音量変化が激しいライブ録音などに適しています。
このモードでは、録音中でも手動で録音レベルを変更することができます。

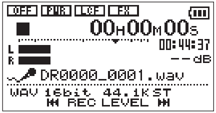
注意

入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で録音レベル（REC LEVEL）を下げるか、音源から本体を離してください。

録音する

以下の操作手順は、すでに入力ソースが設定され、入力レベル調節を行い、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. **RECORD** [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。

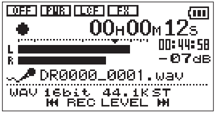


録音画面の下側には、録音ファイル名とともに、入力ソース、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

メモ

モニターミックスをオンにしているときは、オーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニューが表示されます。この場合には、**"OFF"** を選択（反転表示）した状態で次の手順**2.**に進んでください。

2. 再度**RECORD** [●] ボタンを押します。通常の録音が始まります。



録音が始まると**REC**インジケーターが点灯し、ディスプレーには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには、**⏻/❙ (HOME)**[■] ボタンを押します。
録音を一時停止するには、**RECORD** [●] ボタンを押します。再度**RECORD** [●] ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。
一時停止後に **⏻/❙ (HOME)**[■] ボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

メモ

本機は、**RECORD** [●] ボタンの操作音が録音されるのを避けるため、録音開始時に**RECORD** [●] ボタンが押されてから約0.3秒後（時間固定）に録音が開始されます。（レックディレイ機能）

注意

本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

再生音に入力音を重ねて録音する（オーバーダビング）

既に録音したファイルを再生しながら、その再生音に入力音を重ねて新しいファイルとして録音することができます。

メモ

- インプットモニターがオフのときオーバーダビングはできません。
- オーバーダビングをするためにインプットモニターをオンにした場合、プリレック機能は無効になります。
- オートレック機能をオンにしたときは、オーバーダビングはできません。
- オーバーダビング中は、手動でファイルを更新することはできません。
- オーバーダビング中は、一時停止はできません（**RECORD** [●] ボタン操作を受け付けません）。
- オーバーダビングは、サンプリング周波数の設定にかかわらず、再生ファイルのサンプリング周波数となります。
- サンプリング周波数が96kHzのWAVファイルをオーバーダビングするときには、MP3ファイルにすることはできません。

入力音を重ねるファイルを選択する

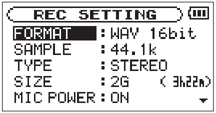
1. ⏮ボタン、⏭ボタン、もしくは **"BROWSE"** 画面で、音を重ねたいファイルを選択します。

メモ

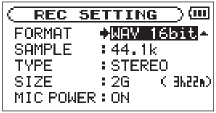
"BROWSE" 画面を使ってのファイルの選択は、65ページ「第5章 ファイルやフォルダの操作（BROWSE画面）」を参照してください。

ファイルフォーマットを設定する

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
"REC SETTING" 画面が表示されます。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、⏭ボタンまたは► ボタンを押します。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、ファイルフォーマットを設定します。
5. 設定が終了したら、⏻/❙ (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

再生音と入力の音を同時に聴く（モニターミックス）

再生音と入力の音を同時に聴くことができるように設定します。（モニターミックス）

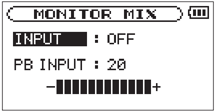
注意

モニターミックスをオンにすると、プリレック機能は無効になります。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"OTHERS"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
"OTHERS" サブメニューを表示します。

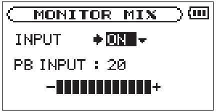
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"MONITOR MIX"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

   "MONITOR MIX" 画面が表示されます。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"INPUT"** 項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは► ボタンを押します。

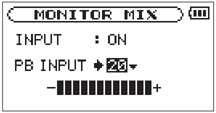
5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**"ON"** に設定します。（初期値：**"OFF"**）



   これで入力音のモニターが可能になります。

6. I◄◄ボタンを押して、設定項目選択状態にします。

7. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PB INPUT"** 項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは► ボタンを押します。



8. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、再生音のレベルを調節します。設定範囲は、**"0"** ～ **"20"** です。

9. 設定が終了したら、**⏻/ I (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

"MONITOR MIX" 画面の **"INPUT"** 項目のオン／オフの設定は、録音中または録音待機中にはできません。

ヒント

モニターミックスをオンにすると、オーバーダビング以外に、録音した（あるいは取り込んだ）オーディオファイルに合わせて歌や楽器の練習をしたり、カラオケを楽しむことができます。

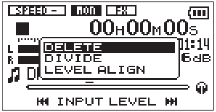
入力レベルを調節する（簡易調節）

モニターミックス（**“MONITOR MIX”**画面の**“INPUT”**項目）がオンになっているときは、クイックメニュー画面で入力レベルを簡易的に調節することができます。

メモ

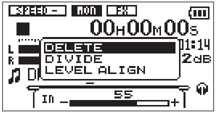
クイックメニュー画面では、レベルメーターが隠れる仕様になっています。このため、レベルメーターを見ながらの調節はできません。

1. ホーム画面で停止中または再生中に**QUICK**ボタンを押します。
   クイックメニュー画面が表示されます。



[停止中のクイックメニュー画面]

2. 入力音を聞きながら、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、入力レベルを調節します。
   ⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。



注意

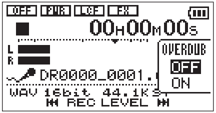
- モニターミックスがオフになっているときは、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押してもメーターはプルアップ表示されません。
- 入力音のレベルが歪む直前になると、ディスプレーの左上にある**PEAK**インジケーターが赤く点灯しますので、**PEAK**インジケーターが赤く点灯しないように録音レベルを設定してください。

メモ

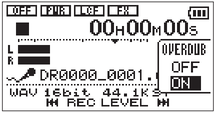
インプットモニターがオンのときやオーバーダビング中の**PEAK**インジケーターは、入力音と再生音をミックスした信号のレベルで点灯します。

オーバーダビングを実行する

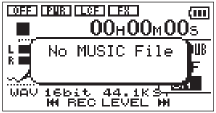
1. **RECORD [●]** ボタンを押して､録音待機状態にします。
   録音画面にオーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニューが表示されます。
   また、録音ファイル名、入力ソース、録音オーディオファイルの形式／サンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。



2. **＋**ボタンまたは**－**ボタンを使って、オーバーダビングをオン／オフ設定するポップアップメニュー上の **"ON"** を反転表示します。（初期値：**"OFF"**）



3. **RECORD [●]** ボタンを押します。オーバーダビングが始まります。
   録音が始まると **REC**インジケーターが点灯し、録音画面には録音経過時間および録音残時間が表示されます。
   再生可能なファイルが選択されていないときは、次のようなポップアップメッセージが表示されます。

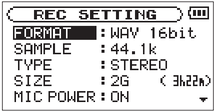


4. 録音を終了するには、**⏻/ I (HOME)[■]** ボタンを押します。

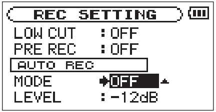
録音機能を自動で動作させる（AUTO REC）

入力音のレベルに応じて、録音の開始や一時停止とファイルの更新、マークの設定を自動で行う機能です。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
"REC SETTING" 画面が表示されます。

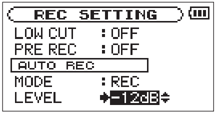


3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"MODE"** 項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは ► ボタンを押します。
4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、AUTORECのモードを設定します。



OFF（初期値）：オフ
REC：自動で録音と停止を行なうモード
MARK：録音中に自動でマークを付けるモード

5. I◄◄ ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
6. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"LEVEL"** 項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは ► ボタンを押します。



7. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、信号が入力されたと判断する基準レベルを **"-6dB"**、**"-12dB"**（初期値）、**"-24dB"**、**"-48dB"** の中から設定します。
8. 設定が終了したら、⏻/I (HOME) [■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
9. RECORD [●] ボタンを押し、録音待機状態にします。
入力音が **"LEVEL"** 項目で設定した基準レベルを上回ると自動で録音を開始します。

10. 録音中の動作は **"MODE"** の設定により、次のようになります。

"REC"のとき：

入力音が **"LEVEL"** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回ると録音待機状態になり、その後入力音が基準レベルを上回ると新しいファイルに録音を再開します。

"MARK"のとき：

入力音が **"LEVEL"** 項目で設定した基準レベルを5秒以上にわたって下回った後に、入力音が基準レベルを上回るとその位置にマークを付けます。

11. 録音を停止させる場合は、⏻/❙(HOME)[■] ボタンを押してください。

ヒント

プリレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

注意

- オートレック機能をオンにしたときは、オーバーダビングはできません。
- オートレック機能がオンの時には、セルフタイマーは使用できません。

録音中にファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）

録音中に手動で、または **"REC SETTING"** 画面にて設定した最大ファイルサイズになったときに自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続することができます。（トラックインクリメント機能）

録音中に手動でトラックインクリメントする

録音中に、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

1. 録音中に、QUICKボタンを押します。

メモ

新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。

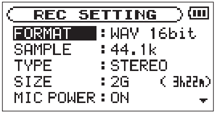
注意

- フォルダとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名が既に存在する場合は、更に数字が繰り上がります。
- オーバーダビング中は、トラックインクリメントはできません。

ファイルサイズで自動的にトラックインクリメントする

録音中に、**"REC SETTING"** 画面にて設定した最大ファイルサイズに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。
以下の手順で最大ファイルサイズの設定を行います。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"SIZE"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。
   ＋ボタンまたは－ボタンを使って、自動でトラックインクリメントする最大ファイルサイズを **"64M"**、**"128M"**、**"256M"**、**"512M"**、**"1G"**、**"2G"**（初期値）の中から設定します。
4. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

注意

フォルダとファイルの総数が5000個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

メモ

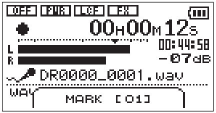
ファイル形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける録音時間が異なります。また、録音時間が24時間以上の場合は、23時間59分59秒として表示されます。

マーク機能

録音中に手動でマークを付ける

録音中に手動で任意の位置にマークを付けることができます。

1. 録音中に**MARK**ボタンを押します。
   マーク番号がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。



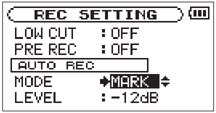
メモ

- マークは、ファイルごとに **"01"** ～ **"99"** まで設定でき、ファイルにマークの情報を記録します。
- 本機で録音したWAVファイルは、BWFフォーマットに対応しているため、録音中に付けたマークの情報はファイルへ保存されます。BWF対応ソフトなどで、このマーク情報を使用することができます。

録音中に自動でマークを付ける

オートレック機能により自動でマークをつけるように設定することができます。

"AUTO REC" 画面の **"MODE"** 項目を **"MARK"** に設定します。



詳細は、58ページ「録音機能を自動で動作させる（AUTO REC）」を参照してください。

マークの位置への移動

停止中または再生中に、選択されているファイルに挿入されているマークの位置へ移動することができます。

頭出しのためのインデックスのように使用することができます。

1. 停止中または再生中に**MARK**ボタンを押しながら、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押します。

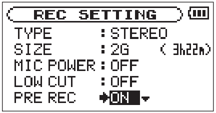
メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

録音開始の少し前から録音する（PRE REC）

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"REC SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
   "REC SETTING" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"PRE REC"** 項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは ► ボタンを押します。
4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、**"ON"** に設定します。（初期値：**"OFF"**）



5. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

メモ

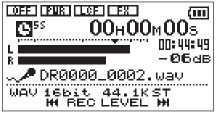
- 録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。
- プリレック機能を使用してのオーバーダビングはできません。オーバーダビングを行うときは、プリレック機能は無効になります。

セルフタイマー機能

カメラのセルフタイマーのように、設定時間経過後に録音を開始するように設定ができます。

1. 停止中または再生中に**RECORD**［●］ボタンを押して録音待機状態にし、**PB CONT**ボタンを押します。
2. レコーダーの動作状態表示部が、セルフタイマーアイコン“ ”に変わり、その右に時間が表示されます。
   PB CONTボタンを押すたびに、以下のように設定が変わります。

   “ ”アイコン右の時間表示
   “OFF”（初期値）→ **“5S”**（5秒）→ **“10S”**（10秒）→ **“OFF”**



3. 時間を設定後、**RECORD**［●］ボタンまたは►ボタンを押します。
   設定時間経過後、録音が開始されます。

メモ

- 録音中に一時停止したときにはセルフタイマー機能は、使用できません。
- オートレック機能がオンの時にはセルフタイマーは使用できません。

録音時間について

各ファイルフォーマットにおける、microSD/microSDHCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット（録音時の設定）			microSD ／ microSDHCカード容量			
			1GB	2GB	4GB	8GB
WAV16ビット（STEREO）		44.1kHz	1時間41分	3時間22分	6時間44分	13時間28分
		48kHz	1時間33分	3時間06分	6時間12分	12時間24分
		96kHz	46分	1時間33分	3時間06分	6時間12分
WAV24ビット（STEREO）		44.1kHz	1時間07分	2時間15分	4時間30分	9時間00分
		48kHz	1時間02分	2時間04分	4時間08分	8時間16分
		96kHz	31分	1時間02分	2時間04分	4時間08分
MP3（STEREO ／ MONO）	32kbps	44.1kHz ／ 48kHz	74時間32分	149時間04分	298時間08分	596時間16分
	64kbps	44.1kHz ／ 48kHz	37時間16分	72時間32分	149時間04分	298時間08分
	96kbps	44.1kHz ／ 48kHz	24時間50分	49時間40分	99時間20分	198時間40分
	128kbps	44.1kHz ／ 48kHz	18時間38分	37時間16分	74時間32分	149時間04分
	192kbps	44.1kHz ／ 48kHz	12時間25分	24時間50分	49時間40分	99時間20分
	256kbps	44.1kHz ／ 48kHz	9時間19分	18時間37分	37時間16分	74時間32分
	320kbps	44.1kHz ／ 48kHz	7時間27分	14時間54分	29時間48分	59時間36分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のmicroSD ／ microSDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD ／ microSDHCカードに可能な録音合計時間です。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約２倍の時間となります。

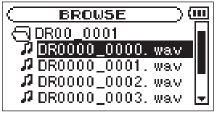
第5章　ファイルやフォルダの操作（BROWSE画面）

"BROWSE" 画面では、microSDカード上の **"MUSIC"** フォルダ（オーディオファイルの収納フォルダ）の内容を見ることができます。また、この画面で選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダの作成やプレイリストへの登録などができます。（ → 73ページ「プレイリスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはmicroSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも **"MUSIC"** フォルダ内のフォルダ構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

"BROWSE" 画面を表示するには、**MENU**ボタンを押して **"MENU"** 画面を表示し、＋ボタンまたは－ボタンを使って **"BROWSE"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。



この画面には、**"BROWSE"** 画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。

BROWSE画面内のナビゲーション

"BROWSE" 画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダは、第2階層まで作成できます。

- ＋ボタンまたは－ボタンを使って、ファイルやフォルダを選択します。
- フォルダを選択中に►►Iボタンを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダを選択中にI◄◄ボタンを押すと、現在開いているフォルダが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダやファイルを選択中に**QUICK**ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
- ファイルを選択中に►ボタンを押すと、ホーム画面に戻りそのファイルが再生されます。
  このファイルを含むフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が **"FOLDER"** の場合は、このフォルダが再生範囲になります。

- フォルダが選択中（反転表示中）に►ボタンを押すと、ホーム画面に戻り、そのフォルダの最初のファイル（リスト表示したときに一番上に表示されるファイル）が再生されます。
  このフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"FOLDER"** になり、このフォルダが再生範囲になります。

BROWSE画面内のアイコン表示

以下に **"BROWSE"** 画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSIC フォルダ（ ）MUSIC

ルート（ROOT）階層表示中の **"BROWSE"** 画面では、最上段にMUSICフォルダが表示されます。

オーディオファイル（ ♫ ）

音楽ファイルは、" ♫ " アイコンのあとにファイル名が表示されます。

フォルダ（ ⊞ ）

内部にフォルダが存在するフォルダです。

フォルダ（ □ ）

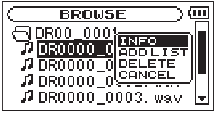
内部にフォルダが存在しないフォルダです。

表示中のフォルダ（ ）

現在、このフォルダの内容を画面表示しています。

ファイル操作

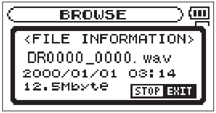
"BROWSE" 画面内の希望のオーディオファイルを選択（反転表示）し、**QUICK**ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



＋ボタンまたは－ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

INFO

選択したファイルの情報（日付、サイズ）が表示されます。
再度►ボタンを押すか、**⏻/❙ (HOME)** [■] ボタンを押すと、**"BROWSE"** 画面に戻ります。



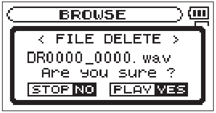
ADD LIST

プレイリストに選択したファイルを登録します。（ → 73 ページ「プレイリスト」）

DELETE

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►ボタンを押すとファイルが削除され、⏻/❙ (HOME) [■] ボタンを押すと削除が中止されます。



CANCEL

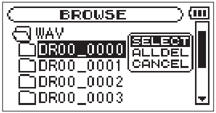
選択中（反転表示）のファイルに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

フォルダ操作

"BROWSE" 画面内の希望のフォルダを選択し、QUICK ボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



＋ボタンまたは－ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと本機が以下の動作を行います。

SELECT

ホーム画面に戻り、選択したフォルダ内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"FOLDER"** になり、このフォルダが再生範囲になります。また、この操作で選択されたフォルダに、録音したファイルが保存されます。

ALL DEL

選択したフォルダ内のファイルを一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

► ボタンを押すとファイルが削除され、⏻/ | (HOME) [■] ボタンを押すと削除が中止されます。



メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

CANCEL

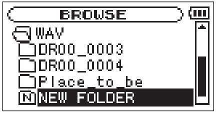
選択中のフォルダに関する操作をキャンセルしポップアップメニューを閉じます。

メモ

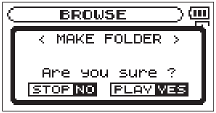
QUICKボタンを押すことでポップアップメニューを閉じることもできます。

新しいフォルダを作る

各フォルダの一番下に、**"NEW FOLDER"** があります。



"NEW FOLDER" を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。新たなフォルダを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



► ボタンを押すとフォルダが作成され、⏻/ | (HOME) [■] ボタンを押すと作成が中止されます。ただし、本機では3階層以上のフォルダを扱うことはできないため、第2階層のフォルダには **"NEW FOLDER"** はありません。新規に作成されたフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルはここに記録されるようになります。また、再生範囲設定が **"FOLDER"** の場合は、このフォルダが再生範囲になります。

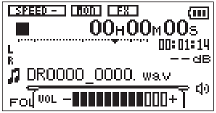
ホーム画面上では、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って再生する曲（ファイル）を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。カード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。**"PLAY SETTING"** 画面で、再生範囲を全ファイル、現在のフォルダ、プレイリストの中から選択することができます。また、**"BROWSE"** 画面を使って希望のフォルダを再生範囲に設定することができます。

メモ

"BROWSE" 画面では、再生範囲設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

再生の音量を調節する

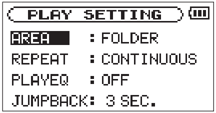
内蔵スピーカーまたは Ω /LINE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中に＋ボタンまたは－ボタンを使って調節します。
このとき、ボリューム位置がディスプレーの下部にプルアップ表示されます。



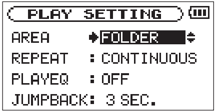
再生範囲を設定する（AREA）

"PLAY SETTING" 画面で再生範囲を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PLAY SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"AREA"** 項目を選択（反転表示）し、⏭ボタンまたは►ボタンを押します。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、再生範囲を設定します。

ALL FILES：

microSDカード上のMUSICフォルダ内の全ファイルを再生することができます。

FOLDER（初期値）：

現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生することができます。

PLAYLIST：

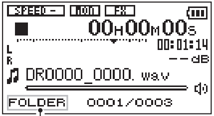
プレイリストに登録されているファイルを再生することができます。（ → 73ページ「プレイリスト」）
プレイリストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ **"No PLAYLIST"** を表示します。



5. 設定が終了したら、**⏻/Ⅰ (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

再生範囲の現在の設定が、ホーム画面左下部に表示されます。

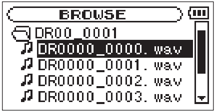


再生範囲表示

BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダを選択する（1）

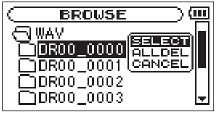
現在の再生範囲にかかわらず、**"BROWSE"** 画面でフォルダを選択すると、選択したフォルダが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"BROWSE"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "BROWSE" 画面が表示されます。



   ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。

3. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って階層を移動し、＋ボタンまたはーボタンを使って、フォルダを選択（反転表示）します。
   "BROWSE" 画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（65ページ）をご覧ください。
4. QUICKボタンを押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。

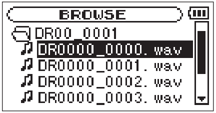


   ＋ボタンまたはーボタンを使って **"SELECT"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   ホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択され、停止状態になります。
   以前の再生範囲設定にかかわらず、再生範囲設定が **"FOLDER"** になり、このフォルダが再生範囲になります。また、このフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。

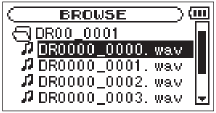
BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダを選択する（2）

再生範囲が **"FOLDER"** のとき、**"BROWSE"** 画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"BROWSE"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
   "BROWSE" 画面が表示されます。

   ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。
3. ◄◄ ボタンまたは ►►ı ボタンを使って階層を移動し、＋ボタンまたは－ボタンを使って再生したい曲（ファイル）が入っているフォルダを選択（反転表示）します。
   "BROWSE" 画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（65ページ）をご覧ください。
4. ►►ı ボタンを押します。
5. 再生したい曲（ファイル）を選択（反転表示）します。

6. ► ボタンを押します。
   ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。
   また、このフォルダがカレントフォルダ（現在選択されているフォルダ）になり、録音したファイルもここに保存されるようになります。
   再生範囲が **"FOLDER"** に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダが再生範囲になります。

プレイリスト

再生するファイルのリスト（プレイリスト）を作成することができます。
“PLAY SETTING”画面の**“AREA”**項目で**“PLAY LIST”**に設定すると、プレイリスト上の曲を再生することができます。

プレイリストに登録する

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“BROWSE”**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   “BROWSE”画面が表示されます。

メモ

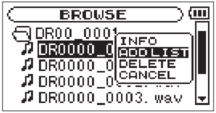
“BROWSE”画面の詳細については、「第5章 ファイルやフォルダの操作（BROWSE画面）」（65ページ）をご覧ください。

3. ＋ボタンまたはーボタンを使ってプレイリストに登録したいファイルを選択し、QUICKボタンを押します。
   ポップアップメニューが表示されます。

メモ

ファイルの選択方法の詳細については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（65ページ）をご覧ください。

4. ＋ボタンまたはーボタンを使って、**“ADD LIST”**を選択（反転表示）します。



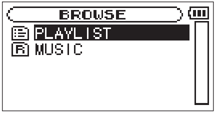
5. ►ボタンを押します。
   選択（反転表示）した曲がプレイリストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。
6. 必要に応じて上記手順3.、4.、5.を繰り返します。リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

プレイリストを編集する

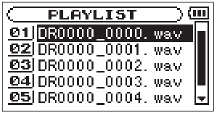
“PLAYLIST”画面には、作成したプレイリストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生やプレイリストの編集を行うことができます。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“BROWSE”**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   “BROWSE”画面が表示されます。

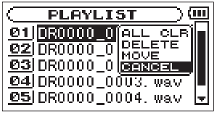
3. ⏮ ボタンを使って、一番上の階層まで階層を移動します。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PLAYLIST"** を選択（反転表示）して、⏭ ボタンを押します。
"PLAYLIST" 画面が表示されます。



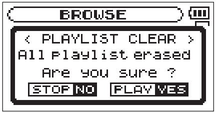
5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って編集したいファイルを選択（反転表示）し、**QUICK**ボタンを押します。
ポップアップメニューが表示されます。



6. ＋ボタンまたは－ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、▶ ボタンを押すと、本機が以下の動作を行います。

ALL CLR：

プレイリスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されますので、削除する場合は ▶ ボタンを押します。削除しない場合は **⏻/ I (HOME)** [■] ボタンを押します。
この操作の場合は、手順**3.**でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルがプレイリストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。



DELETE：

曲をプレイリストから削除します。プレイリストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。

MOVE：

選択している曲（ファイル）の曲順を変更します。ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。

- ＋ボタンまたは－ボタンを使って、プレイリスト内で選択ファイルの曲順を移動します。



上図は、4曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

- ►ボタンを押します。
  移動が完了して、通常の **"PLAYLIST"** 画面に戻ります。

CANCEL：

選択中のファイルに関する操作をキャンセルします。

再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。
ファイルの途中で⏮ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で.ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。
ファイルの先頭、または途中で⏭ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレーに表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレーに動作アイコン **"■"** を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン **"❚❚"** を表示します。
- 現在の位置から曲の先頭または最後までの間にIN点（ループ再生の始点）およびOUT点（終点）がある場合には、その点に移動します。曲を移動したい場合には、⏮ボタンまたは⏭ボタンを必要なだけ押してください。

再生する

ホーム画面で停止中に► ボタンを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- **"BROWSE"** 画面でファイル名を選択して再生させることもできます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に **⏻/ I (HOME)** [■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。（一時停止）
再度► ボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

停止する

ホーム画面で再生中に **⏻/ I (HOME)** [■] ボタンを押して一時停止状態にし、再度 **⏻/ I (HOME)** [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。（停止）

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中に⏮ ボタン／ ⏭ ボタンを押し続けると、早戻し／早送りサーチ再生を行います。

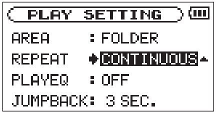
メモ

⏮ ボタン／ ⏭ ボタンを押し続けるとサーチスピードが加速してゆきます。

繰り返し再生する（REPEAT）

1つのファイルを繰り返して再生したり、指定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PLAY SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、► ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"REPEAT"** 項目を選択（反転表示）し、⏭ ボタンまたは► ボタンを押します。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、リピートのモードを設定します。

   CONTINUOUS（初期値）：
   通常の再生（再生範囲内の連続再生）を行うモードです。

   SINGLE：
   1曲だけ再生するモードです。リピートは行いません。
   ホーム画面に“SINGLE”アイコンが表示されます。

   1 REPEAT：
   再生中の曲をリピート再生するモードです。ホーム画面に“1”アイコンが表示されます。

   ALL REPEAT：
   再生範囲設定で設定した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。ホーム画面に“ALL”アイコンが表示されます。

メモ

上記の“**REPEAT**”項目を“**CONTINUOUS**”以外に設定しているときにループ再生を実行すると、リピート再生が自動的に“**OFF**”になります。

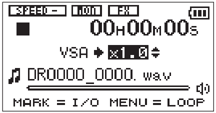
5. 設定が終了したら、**ᐤ/ I (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻り、再生を開始します。

特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生したり、音程を変えずに再生スピードを変えたりすることができます。また、再生したときに小さくて聞き取りにくいときに、全体の音圧感を調整して聞き取りやすくすることができます。
これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

再生コントロール機能の設定

再生コントロール機能の設定は、再生コントロール画面で行います。
ホーム画面で停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。

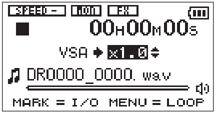


この画面では、再生スピード、ループ再生の設定ができます。
この画面内での設定作業を終えた後、**ᐤ/ I (HOME)[■]**ボタンまたは**PB CONT**ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

指定した区間を繰り返し再生する（ループ再生）

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

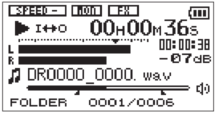
1. ホーム画面で停止中または再生中に**PB CONT**ボタンを押して、再生コントロール画面を表示します。



2. ►ボタンを押して再生し、ループ再生したい区間の始点で**MARK**ボタンを押します。
   現在位置がIN点（始点）として設定されます。
   再生位置表示バーの下部には、該当する位置に"◢"が点灯します。

3. ループ再生したい区間の終点で**MARK**ボタンを押します。
   現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN-OUT点間のループ再生が開始されます。
   再生位置表示バーの下部には、該当する位置に"◣"が点灯します。

ループ再生中は"**I↔O**"が点灯します。
PB CONTボタンを押すと、IN点（始点）／OUT点（終点）の設定、およびループ設定が有効なままホーム画面に戻ります。このとき、ホーム画面でも"**I↔O**"が点灯し、再生位置表示バーの下部には、IN点（始点）／OUT点（終点）に該当する位置に"◢"／"◣"が点灯します。



メ モ

- IN-OUT点間が短すぎる場合には、**"I/O Too Short"**というポップアップメッセージが表示されます。1秒以上空けて設定し直してください。
- 再度**MARK**ボタンを押すと、IN点（始点）およびOUT点（終点）をクリアします。
- ループ再生を中止するには、再生コントロール画面を表示中に**MENU**ボタンを押します。再度**MENU**ボタンを押すと、設定されているIN-OUT点間でループ再生を行います。
- 2つ以上のファイルを跨いでのIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定はできません。

- 違うファイルに対してIN点（始点）を設定すると、以前のIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定は破棄されます。
- MP3ファイルがVBR形式の場合は、正確なIN点（始点）およびOUT点（終点）の指定ができない場合があります。

再生スピードを変える（VSA機能）

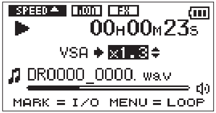
本機では、VSA機能（Variable Speed Audition）が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生スピードを変えることができます。

注意

サンプリング周波数96kHzで録音されたファイルを選択しているときには、VSA機能は使用できません。このとき、"SPEED×" アイコンが表示されます。ただし、このときにも再生スピードの変更は行うことができます。

このファイルでは有効になりませんが、ホーム画面に戻って⏮ボタンや⏭ボタンを使うなどして44.1k/48kHzのファイルをロードしたときに、再生スピードの設定が有効になります。

再生コントロール画面表示中に、＋ボタンまたは－ボタンを押すと、再生スピードを早くするまたは遅くすることができます。



再生スピード可変範囲は、**"0.5"** 倍（50%）～ **"1.5"** 倍（150%）の範囲で、0.1倍単位で設定可能です。

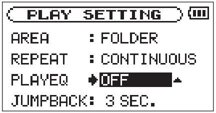
PB CONTボタンを押すと、設定した再生速度が有効なままホーム画面に戻ります。

再生速度が **"1.0"** 倍より大きいときには "SPEED▲"、**"1.0"** 倍より小さいときには "SPEED▼" と表示されます。

再生イコライザー（PLAY EQ）を使う

再生音を聞きやすくするために、お好みに合わせて音色を選択することができます（PLAY EQ:再生イコライザー）。再生イコライザーの設定は、**"PLAY SETTING"** 画面で行います。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"PLAY SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"PLAY EQ"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。

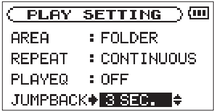


4. ＋ボタンまたはーボタンを使ってイコライザーの設定をします。**"TREBLE"** で高域を、**"MIDDLE"** で中域、**"BASS"** で低域が調節できることを示し、"+" ／ **"-"** はその音域を上げるか下げるかを示します。
   選択肢："OFF"（初期値）、**"TREBLE +"**、**"TREBLE -"**、**"MIDDLE +"**、**"MIDDLE -"**、**"BASS +"**、**"BASS -"**
5. 設定が終了したら、⏻/I (HOME)[■] ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

再生中に数秒前に戻り再生し直す（ジャンプバック再生）

再生中に►ボタンを押すと、数秒前（設定可能）に戻って再生します。（ジャンプバック再生機能）
再生中に聴きなおしたいフレーズ、歌詞などがあったときに►ボタンをおすことで、少し前から聞きなおすことができます。
戻る時間は、**"JUMPBACK"** 項目で指定できます。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"PLAY SETTING"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "PLAY SETTING" 画面が表示されます。
3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"JUMPBACK"** 項目を選択（反転表示）し、►►Iボタンまたは►ボタンを押します。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使ってジャンプバックで戻る時間を設定します。
   "1 SEC. "（1秒）～ **"10 SEC. "**（10秒）の範囲で、1秒刻みおよび、**"20 SEC. "**（20秒）、**"30 SEC. "**（30秒）で設定できます。（初期値：**"3 SEC. "**）
5. 設定が終了したら、**⏻/❙ (HOME)[■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

QUICKボタンの概要

QUICKボタンを使うと、次のことができます。

- ホーム画面で停止中または一時停止中に押すと、現在の曲の削除、分割とレベルアライン機能（全体の音圧感を上げる）を使うためのクイックメニュー画面を表示します。
  再生中は、レベルアライン機能のみのクイックメニュー画面を表示します。
- ホーム画面で録音待機中に押すと、レベルコントロール機能または内蔵ステレオマイクの左右を設定するためのクイックメニュー画面を表示します。
- ホーム画面で録音中に押すと、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続するトラックインクリメントを行います。（ → 59ページ「録音中に手動でトラックインクリメントする」）
  このとき、クイックメニュー画面は表示されません。
- **"BROWSE"** 画面または **"PLAYLIST"** 画面では、選択されているファイルまたはフォルダを操作するポップアップメニューが表示されます。
- **"TUNER"** 画面で **"CALIB"** 項目と **"INPUT LEVEL"** 項目を切り換えます。

メモ

"MENU" 画面、**"OTHERS"** サブメニュー画面および **"REC SETUP"** 画面などの各種設定画面では、QUICKボタンは無効です。

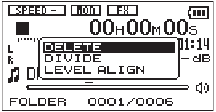
表示画面、状態におけるQUICKボタンの動作は、次のようになります。

表示画面	状態	動作内容
ホーム画面	停止中／一時停止中	削除、分割、レベルアライン機能のクイックメニュー画面を表示
	再生中	レベルアライン機能のみのクイックメニュー画面を表示
	録音待機中	レベルコントロール機能、内蔵ステレオマイクの左右設定のクイックメニュー画面を表示
	録音中	ファイルを切り換えて録音を続ける（トラックインクリメント）
再生コントロール画面		レベルアライン機能のみのクイックメニュー画面を表示
"BROWSE" 画面、**"PLAYLIST"** 画面		選択したファイル（またはフォルダ）を操作するポップアップメニューを表示
"TUNER" 画面		**"CALIB"** 項目と **"INPUTLEVEL"** 項目を切り換え
"MENU" 画面、**"OTHERS"** サブメニュー画面、各種設定画面		ー

クイックメニュー画面

ホーム画面表示中にQIUCKボタンを押すと、クイックメニュー画面が表示されます。
この画面に表示される内容は、QIUCKボタンを押したときの状態により動作が異なります。

● ホーム画面で停止中または一時停止中のとき現在の曲の削除、分割とレベルアライン機能が選択できます。



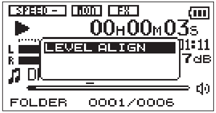
[停止中／一時停止中のクイックメニュー画面]

DELETE：
現在の曲の削除ができます。（ → 85ページ「選択ファイルを削除する（クイックデリート）」）

DIVIDE：
現在の曲を分割することができます。（ → 85ページ「選択ファイルを分割する（DIVIDE）」）

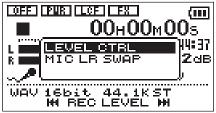
LEVEL ALIGN：
全体の音圧感を上げて聞き取りやすくすることができます。（ → 87ページ「音圧感を上げて聞き取りやすくする（レベルアライン機能）」）

● ホーム画面で再生中のとき、または再生コントロール画面のときレベルアライン機能のみが選択できます。



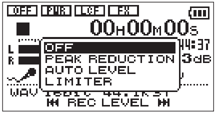
[再生中／再生コントロール画面のクイックメニュー画面]

● ホーム画面で録音待機中のときレベルコントロール機能と内蔵ステレオマイクの左右設定が選択できます。



[録音待機中のクイックメニュー画面]

"LEVEL CTRL" が選択（反転表示）されている状態で、►ボタンを押すと、レベルコントロール設定画面が表示されます。



この画面で、次の3つからレベルコントロール機能を選択できます。

PEAK REDUCTION（ピークリダクション）：

入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げます。

AUTO LEVEL（オートレベル）：

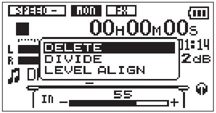
入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節します。

LIMITER（リミッター）：

突発的な過大入力による歪みを防ぐことができます。

レベルコントロール機能の詳細は、51ページ「レベルコントロール機能を使う」を参照してください。

モニターミックスがオンになっているときには、⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って入力レベルを簡易的に調節できます。



⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。入力音を聞きながら入力レベルを調節してください。（→ 56ページ「入力レベルを調節する（簡易調節）」）

メモ

- モニターミックス用の簡易的なレベル調整です。レベルメーターを見ながらの調整ができないため、録音するための正確なレベル調整はできません。録音待機中に行ってください。（→ 49ページ「入力レベルを調節する」）
- レベルコントロール機能でオートレベルに設定されている場合には、入力レベルの調節はできません。

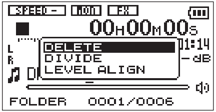
クイックメニュー画面を閉じる

クイックメニュー画面を閉じるには、**QUICK**ボタンを押します。

選択ファイルを削除する（クイックデリート）

"BROWSE" 画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ⏮ボタン、⏭ボタン、もしくは **"BROWSE"** 画面で、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QIUCK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**"DELETE"** 項目を選択（反転表示）します。
4. ►ボタンを押すと、ファイルの削除の確認画面が表示されます。

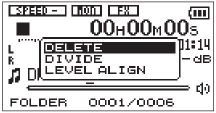


►ボタンを押すとファイルが削除され、⏻/I (HOME) [■] ボタンを押すと削除が中止されます。

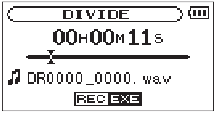
選択ファイルを分割する（DIVIDE）

録音したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

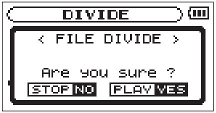
1. ⏮ボタン、⏭ボタン、もしくは **"BROWSE"** 画面で、分割したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中に**QUICK**ボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



3. ＋ボタンまたは－ボタンを使って **"DIVIDE"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
"DIVIDE" 画面が表示されます。



4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って分割する位置を決定し、**RECORD** [●] ボタンを押します。
以下のポップアップメッセージが表示されます。



5. ►ボタンを押すと、ファイルが分割されます。
⏻/❙ (HOME) [■] ボタンを押すと、分割されずに **"DIVIDE"** 画面に戻ります。

メモ

- **"DIVIDE"** 画面表示中に►ボタンを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
- **"DIVIDE"** 画面表示中は、►ボタンを押すたびに再生／一時停止を切り換え、◄◄ボタンで曲の先頭に、►►ボタンで曲の最後に移動します。＋ボタンまたは－ボタンを押すと分割位置の微調整が行え、長く押すと連続移動できます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に **"_a"** または **"_b"** が付加されたファイルが作成されます。
（例）
分割前のファイル名
DR0000_0000.wav
分割後のファイル名
DR0000_0000_a.wav（分割点より前の部分）
DR0000_0000_b.wav（分割点より後の部分）

注意

- MP3ファイルは、分割できません。
- microSDカードの容量が少ない場合は、分割できない場合があります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

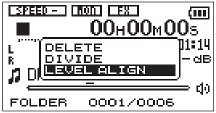
ヒント

録音中にあらかじめ分割したい位置にマークを付けておくことができます。（ → 61ページ「マーク機能」）

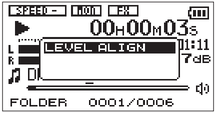
音圧感を上げて聞き取りやすくする（レベルアライン機能）

再生したときに小さくて聞き取りにくい音があるときなどに、全体の音圧感を上げて聞き取りやすくします。（レベルアライン機能）

1. ホーム画面で停止中または再生中にQIUCKボタンを押して、クイックメニュー画面を表示します。



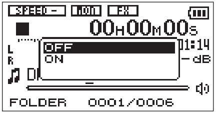
[停止中]



[再生中]

2. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**“LEVEL ALIGN”**項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

3. レベルアライン設定画面が表示されます。



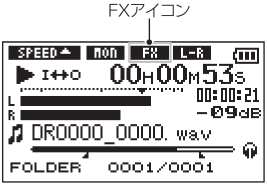
[停止中]

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、**“ON”**を選択（反転表示）し►ボタンを押すと、レベルアライン機能がオンになります。
   “OFF”を選択（反転表示）し►ボタンを押すと、レベルアライン機能がオフになります。

メモ

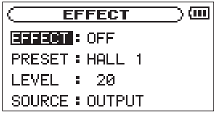
再生音の素材によっては、効果が少ない場合があります（すでに音圧調整が行われている音楽ファイルなど）。

本機には、エフェクターが内蔵されています。
録音時や練習時、入力信号にエフェクトを掛けたり、再生時に再生信号にエフェクトを掛けることもできます。
エフェクターがオンのときは、ホーム画面上部の“FX”アイコンが反転表示（“FX”）します。



エフェクターを設定する

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“OTHERS”**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して**“OTHERS”**サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“EFFECT”**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
“EFFECT”画面が表示されます。



上図のように、**“EFFECT”**画面には、4つの設定項目があります。
⏮ボタン／⏭ボタン、および＋ボタン／ーボタンを使って各項目の設定をします。

EFFECT：
　エフェクターのオン／オフ設定をします。（初期値：**“OFF”**）

PRESET：
　使用するエフェクターをプリセットの中から設定します。エフェクターのプリセットの内容については、「エフェクターのプリセット一覧」（89ページ）をご覧ください。

LEVEL：
　“PRESET”項目で設定したエフェクターの出力レベルを変更することができます。設定範囲は、**“0”**～**“20”**です。

SOURCE：
　エフェクトを入力信号（INPUT）に掛けるか、出力信号（OUTPUT）に掛けるかを設定します。（初期値：**“OUTPUT”**）

4. ＋ボタンまたは－ボタンを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►►I ボタンまたは ► ボタンを押すと、選択肢／値の設定ができるようになります。
5. ＋ボタンまたは－ボタンを使って、希望の選択肢／値に設定します。
6. I◄◄ ボタンを押して、設定項目状態にします。
7. 設定が終了したら、**⏻/ I (HOME)**［■］ボタンを押します。

注意

サンプリング周波数を96kHzに設定しているとき、およびサンプリング周波数が96kHzのWAVファイルを再生した場合には、エフェクター機能は働きません。このとき、エフェクターの設定をすることは可能です。

エフェクターのプリセット一覧

プリセットネーム	効果
HALL 1（初期値）	ホールのような広い空間をイメージしたブライトなリバーブです。
HALL 2	ホールのような広い空間をイメージしたウォームなリバーブです。
ROOM	小さな室内の空間をイメージしたリバーブです。
STUDIO	スタジオのような空間をイメージしたリバーブです。
PLATE 1	ブライトなプレートリバーブです。
PLATE 2	ウォームなプレートリバーブです。

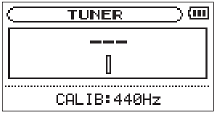
第９章　楽器をチューニングする（チューナー）

本機は、チューナーを内蔵しています。楽器の音を本機に入力することによって、ディスプレーのチューニングメーターを見ながら正確なチューニングができます。

チューナーを使う

チューナーを設定する

1. MENUボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**"OTHERS"**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して**"OTHERS"**サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って**"TUNER"**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。
   "TUNER"画面が表示されます。

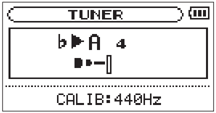


"TUNER"画面では、A（ラ）音の基準周波数を設定する**"CALIB"**項目があります。⏮ボタンを押すと基準周波数の値が下がり、⏭ボタンを押すと上がります。

設定範囲："435Hz"～"445Hz"（1Hz単位）
初期値："440Hz"

チューニングする

1. **"TUNER"**画面が表示されている状態で、チューニングする楽器の音を入力します。
   もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
2. 合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
   チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。



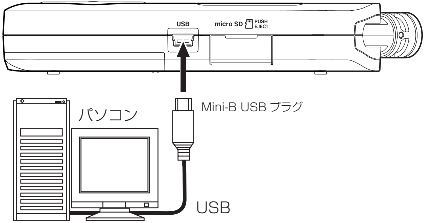
チューニングの入力レベルを調節する

1. **"TUNER"**画面が表示されている状態でQUICKボタンを押すと、画面下の**"CALIB"**項目が"INPUTLEVEL"項目に切り換わります。
2. ⏮ボタンまたは⏭ボタンを使って、入力レベルを調節します。調節中は、入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレーの下部にプルアップ表示されます。
   調節の方法は、入力の簡易調節（→ 56ページ「入力レベルを調節する（簡易調節）」）と同様です。

第 10 章　パソコンと接続する

本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続することで、本機のmicroSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。
本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

MP3：32k ~ 320kbps、44.1k/48kHz
WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット



メモ

本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からmicroSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

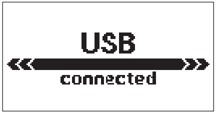
注意

- USB接続中は、本機の操作はできません。
- パソコンとの接続は、ハブを経由せずに直接接続してください。

電源がオンのときにUSB接続すると、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで駆動するか、パソコンとUSB接続するかを選択する **"USB SELECT"** 画面が表示されます。



+ボタンまたは**−**ボタンを使って **"STORAGE"** を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと本機がパソコンに接続され、ディスプレーに **"USB connected"** が表示されます。



本機にmicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

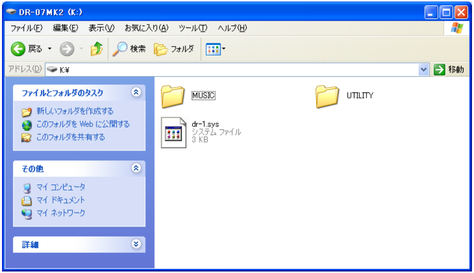
メモ

電池をセットした状態で、USB接続した場合は、USBから電源が供給されます。(USBバスパワー優先)

microSDカードが正しく挿入されていない状態でUSB接続を行うと、ポップアップメッセージ **“Can't Save Data”** が表示されます。
パソコンのディスプレー上に、本機が《**DR-07MK2**》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレー上の《**DR-07MK2**》ドライブをクリックすると、《**MUSIC**》フォルダと《**UTILTY**》フォルダが表示されます。
2. 《**MUSIC**》フォルダを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。



パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレー上の《DR-07MK2》ドライブをクリックすると、《MUSIC》フォルダと《UTILTY》フォルダが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを《MUSIC》フォルダにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、《MUSIC》フォルダ内を管理することができます。
- 《MUSIC》フォルダ内にサブフォルダを作成することができます。サブフォルダは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダ内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくと便利です。
- サブフォルダや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上やブラウズ画面上に表示されます。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。

シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

第 11 章　各種設定および情報表示

情報を見る（INFORMATION）

"INFORMATION" 画面で、本機の各種情報を見ることができます。
以下の手順で **"INFORMATION"** 画面を表示します。

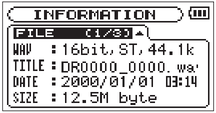
1. MENUボタンを押して、**"MENU"** 画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"OTHERS"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して **"OTHERS"** サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"INFORMATION"** メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。

"INFORMATION" 画面には、以下の3ページがあります。＋ボタンまたはーボタンを使って、これらのページを切り換えることができます。

- **ファイル情報ページ（FILE）：**
  現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示
- **カード情報ページ（CARD）：**
  セットしているmicroSDカードの使用状況を表示
- **システム情報ページ（SYSTEM）：**
  本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ（FILE）

"FILE" ページでは、現在ロードされているオーディオファイルの情報を表示します。



WAV ／ MP3

オーディオファイルの形式を表示します。
WAVファイルの場合は、ビット長、ステレオ／モノラル、サンプリング周波数（Hz）を表示します。
MP3ファイルの場合は、ビットレート（kbps）、CBR ／ VBR、サンプリング周波数（Hz）を表示します。（CBR：固定ビットレート、VBR：可変ビットレート）

TITLE

ファイル名を表示します。
MP3ファイルでID3タグのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

DATE

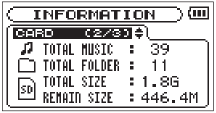
ファイルの日付を表示します。

SIZE

ファイルサイズを表示します。

カード情報ページ（CARD）

"CARD" ページでは、挿入しているmicroSDカードの使用状況を表示します。



TOTAL MUSIC

MUSICフォルダ内にある再生可能なファイル数を表示します。

TOTAL FOLDER

MUSICフォルダ内にあるフォルダ数を表示します。

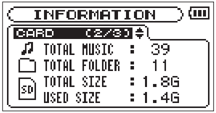
TOTAL SIZE

microSDカードの総メモリー容量を表示します。

REMAIN SIZE ／ USED SIZE

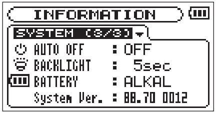
microSDカードの残容量／使用量を表示します。

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、表示が **"REMAINSIZE"** と **"USED SIZE"** に交互に切り換わります。



システム情報ページ（SYSTEM）

"SYSTEM" ページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。



AUTO OFF

電源のオートオフ設定を表示します。

BACKLIGHT

バックライトのオートオフ設定を表示します。

BATTERY

使用する電池の種類の設定を表示します。

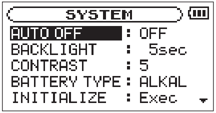
System Ver.

システムファームフェアのバージョン情報を表示します。

環境設定（SYSTEM）

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化やmicroSDカードのフォーマットなどを、**"SYSTEM"**画面で行います。
以下の手順で**"SYSTEM"**画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、**"MENU"**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**"OTHERS"**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して**"OTHERS"**サブメニュー項目を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って**"SYSTEM"**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押します。**"SYSTEM"**メニュー画面が表示されます。



"SYSTEM"画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。
⏮ボタン、⏭ボタン、および＋ボタンまたはーボタンを使って、各項目の設定をします。

電源のオートオフ設定

"AUTO OFF"項目で電池駆動のときに、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢："OFF"**（初期値、自動オフしない）、**"3min"**、**"5min"**、**"10min"**、**"30min"**

バックライトの設定

"BACKLIGHT"項目で電池駆動のときに、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢："OFF"**（消灯）、**"5sec"**（初期値）、**"10sec"**、**"15sec"**、**"30sec"**、**"ALWAYS"**（常に点灯）

ディスプレーのコントラスト調節

"CONTRAST"項目でディスプレーのコントラストを調節します。

選択肢："1"**～**"20"**（初期値：**"5"**）

電池の種類の設定

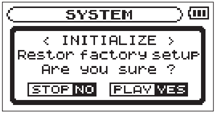
"BATTERY TYPE" 項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢：“ALKAL”（アルカリ乾電池、初期値）、
“Ni-MH”（ニッケル水素電池）

初期設定に戻す

"INITIALIZE" 項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

1. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"INITIALIZE"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、**"Exec"** が反転表示します。
2. ►ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

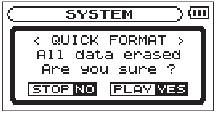


3. ►ボタンを押して、イニシャライズを実行します。イニシャライズしない場合は、**⏻/❙ (HOME)** [■] ボタンを押します。

クイックフォーマットする

"QUICK FORMAT" 項目で、microSDカードをクイックフォーマットします。
クイックフォーマットを行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、《**MUSIC**》フォルダ、《**UTILTY**》フォルダおよび《**dr-1.sys**》が自動生成されます。

1. ＋ボタンまたはーボタンを使って **"QUICK FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押すと、**"Exec"** が反転表示します。
2. ►ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

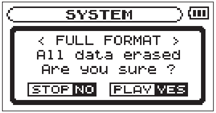


3. ►ボタンを押して、クイックフォーマットを実行します。クイックフォーマットしない場合は、**⏻/❙ (HOME)** [■] ボタンを押します。

フルフォーマットする

"FULL FORMAT" 項目で、microSDカードをフルフォーマットします。フルフォーマットを行うと、カード上の全ての音楽ファイルが消去され、《**MUSIC**》フォルダ、《**UTILTY**》フォルダおよび《**dr-1.sys**》が自動生成されます。
フルフォーマットでは、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行します。クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。

1. **+**ボタンまたは**−**ボタンを使って **"FULL FORMAT"** 項目を選択（反転表示）し、**►**ボタンを押すと、**"Exec"** が反転表示します。
2. **►**ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



3. **►**ボタンを押して、フルフォーマットを実行します。
フルフォーマットしない場合は、**⏻/ I (HOME)[■]** ボタンを押します。

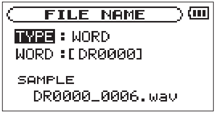
注意

フォーマットの実行は、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を使用するか、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。
フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

ファイル名の形式を設定する

本機で録音するファイルの名前の形式を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、**“MENU”**画面を表示します。
2. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“OTHERS”**メニュー項目を選択（反転表示）し、►ボタンを押して**“OTHERS”**サブメニュー画面を表示します。
3. ＋ボタンまたはーボタンを使って**“FILE NAME”**メニュー項目を選択(反転表示)し、►ボタンを押します。**“FILE NAME”**画面が表示されます。



◄◄ボタン、►►ボタン、および＋ボタンまたはーボタンを使って、各項目の設定をします。
この画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

ファイル名の形式

“TYPE”項目で、**“WORD”**か**“DATE”**かを設定します。

選択肢：“WORD”（初期値）、**“DATE”**

WORD：**“WORD”**で設定した6文字をファイル名に付けます。
（例）DR0000_0000.wav

DATE：日付をファイル名に付けます。
（例）110101_0000.wav

メモ

日付は、本体内の時計をもとに設定されます。（ → 38ページ「日時を設定する」）

文字（WORD）の設定

“WORD”項目で、◄◄ボタンまたは►►ボタンでカーソルを移動し、＋ボタンまたはーボタンを使って文字を設定します。
文字は、英数の他に、記号「! # ＄ % & ’ ( ) + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~」が使用可能です。

第 12 章　メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-07MKIIでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
File Name ERR	DIVIDEによりファイル名の文字数が200文字を超えました。DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
Dup File Name	DIVIDEにより作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダ内に既に存在します。DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
File Not Found	プレイリストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
Non-Supported	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、「第10章 パソコンと接続する」をご覧ください。
Battery Empty	電池の残量がありません。電池を交換してください。
I/O Too Short	IN点（始点）とOUT点（終点）の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
File Not Found PLAYLIST	プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。MUSICフォルダ内に対象のファイルがあるか確認してください。
No PLAYLIST	プレイリストにファイルが登録されていません。プレイリストにファイルを登録するか、プレイモードを「PLAYLIST」以外に設定してください。
PLAYLIST Full	プレイリストが一杯です。プレイリストには、最大99ファイルまで登録可能です。
MBR Error Init CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。

メッセージ	内容と対処方法
Format Error Format CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ずDR-07MKII本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
File Not Found Make Sys File	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
Invalid SysFile Make Sys File	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常でありません。このメッセージが表示されている状態で ► ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
Invalid Card Change Card	カードが正常でない可能性があります。カードを交換してください。
Write Timeout	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
Card Full	カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
Layer too Deep	フォルダは､2階層までです。このフォルダ内に新たなフォルダを作成することはできません。
Can't Divide	DIVIDE実行時に分割位置が適切でありません。（曲の先頭、曲の最後）
Max File Size	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは録音時間が24時間を超えました。
File Full	フォルダとファイルの総数が制限値（5000個）を超えました。不要なフォルダやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
Card Error	カードを正常に認識できません。カードを交換してください。
Current File MP3	MP3ファイルの分割はできません。
File Protected	リードオンリーファイルのため、削除できません。
No Card	カードが無いため、録音できません。

メッセージ	内容と対処方法
No PB File	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。
No MUSIC File	再生ファイルが無いため、DIVIDEおよびOVER DUBは実行できません。
Cannot overdub! See REC setting	96kHzのWAVファイルをMP3でオーバーダビングすることはできません。録音フォーマットをWAVにしてください。
Not Continued File Error Can't Save Data Player Error Device Error Writing Failed Sys Rom Err Remote Cmd Remote Rx System Err 50 System Error 1 System Error 2 System Error 3 System Error 4 System Error 5 System Error 6 System Error 7 System Error 8 System Error 9	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）を取り外す、またはＵＳＢバスパワー駆動時はＵＳＢケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。

第 13 章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違ってセットしていませんか?
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）の電源プラグおよびUSBコネクターがしっかりと差し込まれていますか?
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- パソコンとUSBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

● 本体で操作できない。

↓

- **HOLD**スイッチが矢印方向にセットされていませか？
- USB接続（USB Connected）になっていませんか？

● microSDカードを認識しない。

↓

- microSDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

● 再生できない。

↓

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

● スピーカーから音が出ない。

↓

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **“SPEAKER”**項目が**“OFF”**になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出力レベル設定が最小になっていませんか？

● 録音できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 録音レベルが低くなっていませんか？
- microSDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

● 録音レベルが低い。

↓

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

● 録音しようとする音が歪んで聞こえる。

↓

- 入力レベル（**"REC LEVEL"**）の設定が大きすぎませんか？
- エフェクターがかかっていませんか？

● 再生音が不自然に聞こえる。

↓

- 再生のスピードを変えていませんか?
- 再生イコライザーがかかっていませんか？
- レベルアライン機能が有効になっていませんか？
- エフェクターがかかっていませんか？

● ファイルが消去できない。

↓

- パソコンで読み取り専用に設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

● パソコン上に本機のファイルが表示されない。

↓

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

定格

記録メディア

microSDカード（64MB ～ 2GB）
microSDHCカード（4GB ～ 32GB）

録音再生フォーマット

WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
MP3：44.1k/48kHz、32k/64k/96k/128k/192k/256k/320kbps

チャンネル数

2チャンネル（ステレオ）

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC/EXT IN 端子（プラグインパワー対応）

コネクター：1/8”（3.5mm）ステレオミニジャック
入力インピーダンス：25kΩ
基準入力レベル：−20dBV
最大入力レベル：−4dBV

Ω /LINE OUT 端子

コネクター：1/8”（3.5mm）ステレオミニジャック
出力インピーダンス：12Ω
基準出力レベル：−14dBV（10kΩ負荷時）
最大出力レベル：+2dBV（10kΩ負荷時）
最大出力：20mW+20mW（32Ω負荷時）

内蔵スピーカー

0.3W（モノラル）

コントロール入出力定格

USB 端子

コネクター：Mini-B タイプ
フォーマット：
USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

オーディオ性能

周波数特性

20-20kHz ＋1/－3dB
　(EXT IN to LINEOUT、Fs44.1kHz、JEITA)
20-22kHz ＋1/－3dB
　(EXT IN to LINEOUT、Fs48kHz、JEITA)
20-40kHz ＋1/－3dB
　(EXT IN to LINEOUT、Fs96kHz、JEITA)

歪率

0.05%以下
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

S/N 比

92dB以上
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

注）JEITA：JEITA CP-2150準拠

接続するパソコンの動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）ご確認ください。

Windowsマシン

Pentium 300MHz以上
128MB 以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

Macintoshマシン

Power PC、iMac、G3、G4 266MHz以上
64MB以上のMemory
USBポート（推奨：USB2.0）

推奨USBホストコントローラー

Intel製チップセット

サポートOS

Windows：Windows XP、Windows Vista、
　　　　Windows 7
Macintosh：Mac OS X 10.2以上

一般

電源

単3形電池2本（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U、別売）

消費電力

1.7W(最大時)

電池持続時間（連続使用時）

● アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、96kHz、24ビット	約10.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約17.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、44.1kHz、128kbps	約16時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、48kHz、320kbps	約11時間	内蔵ステレオマイク入力時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約17時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約17時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約19.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約18.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約19.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約18.5時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

● ニッケル水素電池（eneloop）使用時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
録音時	WAV、96kHz、24ビット	約10時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	WAV、44.1kHz、16ビット	約15.5時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、44.1kHz、128kbps	約13時間	内蔵ステレオマイク入力時
録音時	MP3、48kHz、320kbps	約11時間	内蔵ステレオマイク入力時

録音／再生	フォーマット	持続時間	備考
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約15時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、96kHz、24ビット	約14時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約16.5時間	ヘッドホン使用時
再生時	WAV、44.1kHz、16ビット	約16.5時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約16時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、44.1kHz、128kbps	約15時間	内蔵スピーカー使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約16時間	ヘッドホン使用時
再生時	MP3、48kHz、320kbps	約15時間	内蔵スピーカー使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

外形寸法

68 x 158 x 26mm(幅 x 高さ x 奥行き、マイク閉状態)

90 x 158 x 26mm(幅 x 高さ x 奥行き、マイク開状態)

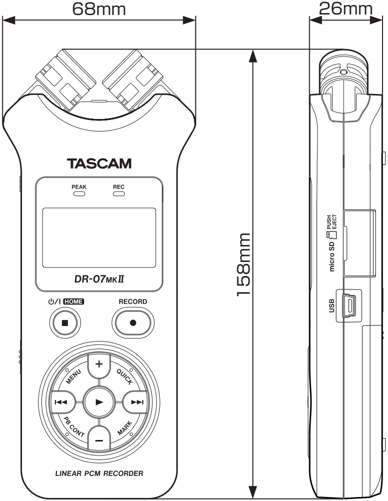
質量

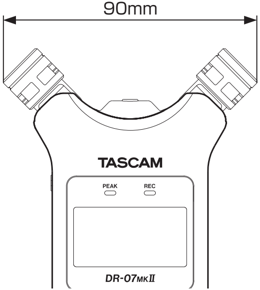
127g（電池を含まず）

動作温度

0 ～ 40℃

寸法図





[マイク開状態の寸法]

* 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
* 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

市内通話料でOK ナビダイヤル®

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China